IDWR

2025年第17週(4月21日～4月27日)

静岡県 *Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka*

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく感染症発生動向調査より

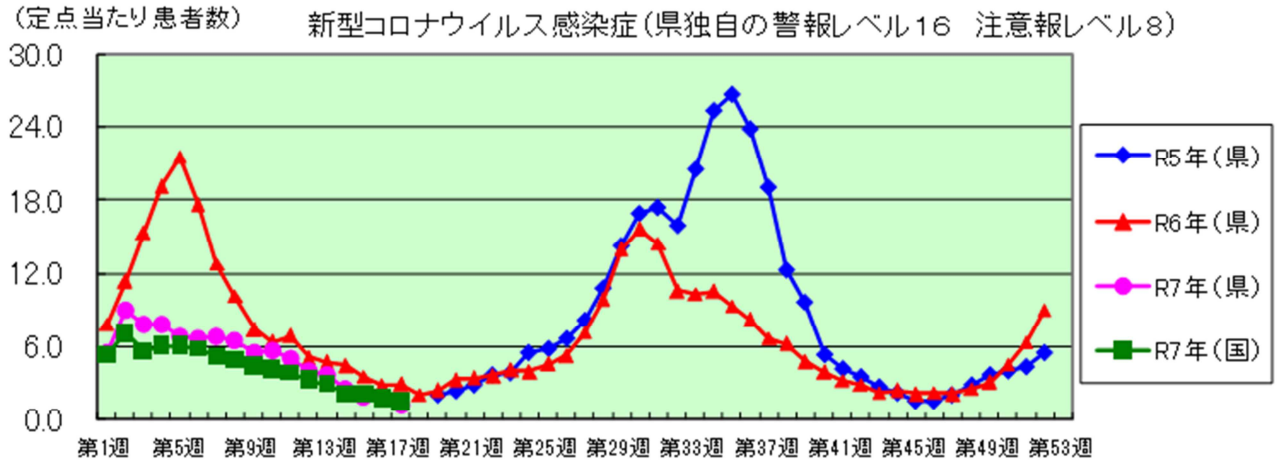
作成　静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

（2025年５月２日公開）

新型コロナウイルス感染症はゆっくりと下がっています（第 17 週 1.16）

第 3 週（1/13～1/19）の定点当たり患者数は 7.77 と注意報基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しました。第 16 週（4/14～4/20）の定点当たり患者数は 1.87 となっており、第3週以降、定点当たり8人台から1人台へゆっくり下がってきました。しかし、県内の新型コロナウイルスは、今年2月以降、流行している株が KP.3 系統から XEC 系統に徐々に入れ替わってきています。重症者が増えるという情報はありませんが、去年の秋以降 KP.3 系統にかかった人が、再度 XEC 系統にかかる可能性はあります。

県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。



RS ウイルス感染症が流行しています（第 17 週 0.7）

RSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数が、第 10 週において 1.07 人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました（RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では 0.5 で「流行が始まる可能性あり」、1 以上で「流行期に入っている」と考えています。）

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数は、第 5 週（1 月 27 日～2 月 2 日）に 0.64 で、0.5 を超え、その後も 0.5～0.8 台を推移していました。県内の患者の年齢は、80％以上が 2 歳以下です。過去には、いったん1以上となると、11～18 週間1以上の流行が続いています。なお、昨年 2024 年に1以上だった期間は、第 16 週（4 月 15 日～21 日）から第 32 週（8 月 5 日～11 日）までの 17 週間でした。

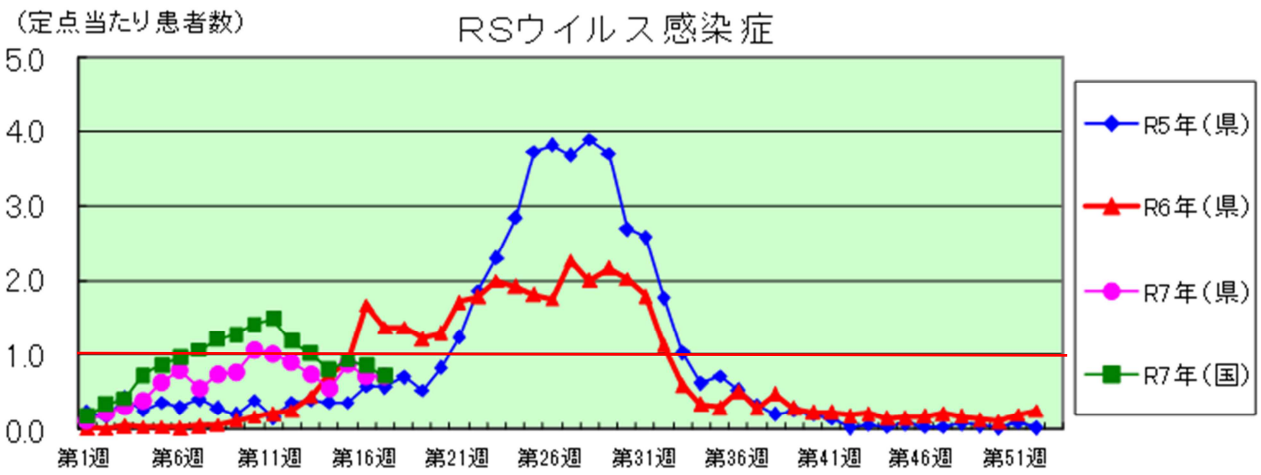
RSウイルス感染症は、飛沫感染（咳、くしゃみの飛び散り）や接触感染（鼻水や痰、だ液等を触る）でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約 5 日、人にうつす感染期間は発症後約 1 週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅーの呼吸）です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですがが、乳児早期（特に 2 か月以下の赤ちゃん）に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります（感染した乳幼児の約 30 人に 1 人は入院するという報告もあります）。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やぜーぜーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）の感染症情報提供サイトを御覧ください。

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html



百日咳が流行しています（第 17 週 17 人）

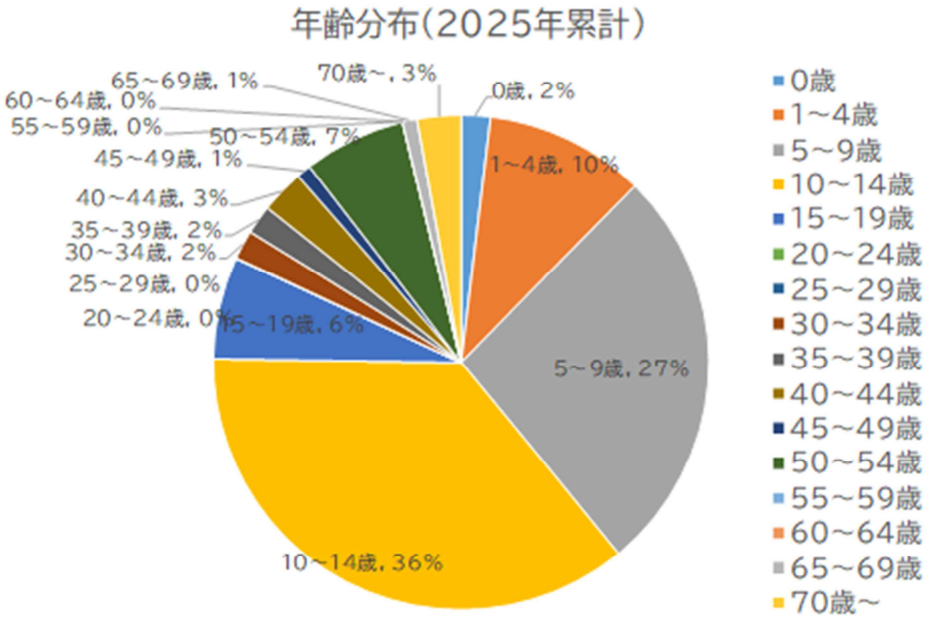
第6週（2/3～）以降、1週間に 1～2 人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっていましたが、第 14 週（3/31～4/6）に 5 人となり、第 15週（4/7～4/13）は 21 人と急増しました（第 17 週は 17 人）。20 人以上となったのは 2019年第51週以来です。コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

年齢分布では 10～14 歳が最多で、続いて5～9歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン（百日咳ワクチンを含んでいます）を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）の感染症情報提供サイトを御覧ください。

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/pertussis.html



伝染性紅斑が警報レベルとなりました（第 17 週 2.07）

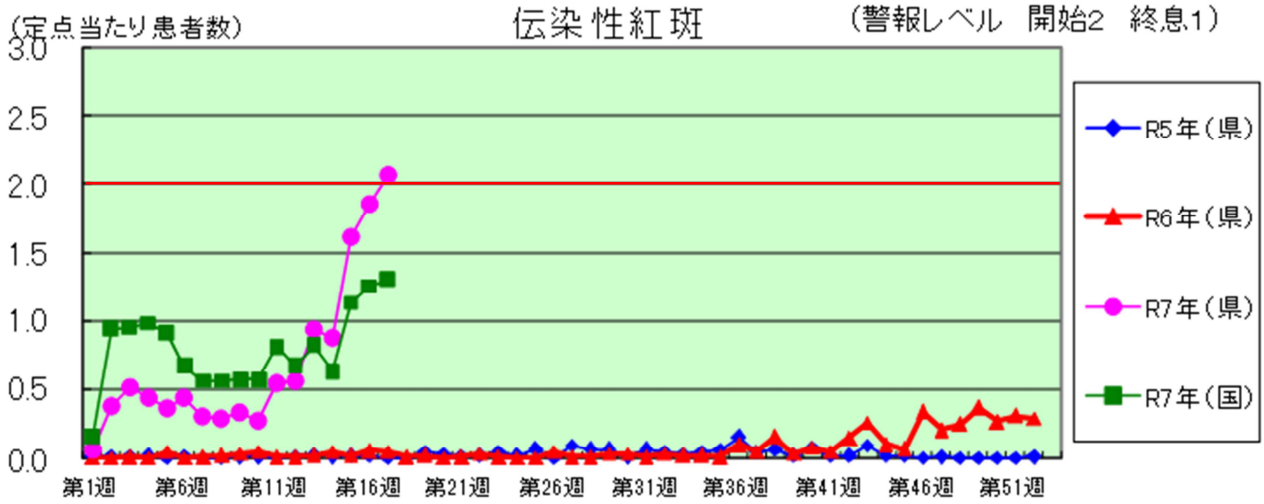
伝染性紅斑が、第3週（1月13日～19日）の0.51以来、0.5を超えることが続いていましたが第17週（4月21日～4月27日）に警報基準値の2を超えました。

警報レベルとなったのは、2011年第25週（6/21～6/27）以来で、その時は第28週（7/12～7/18）まで継続しました。

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3～9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。

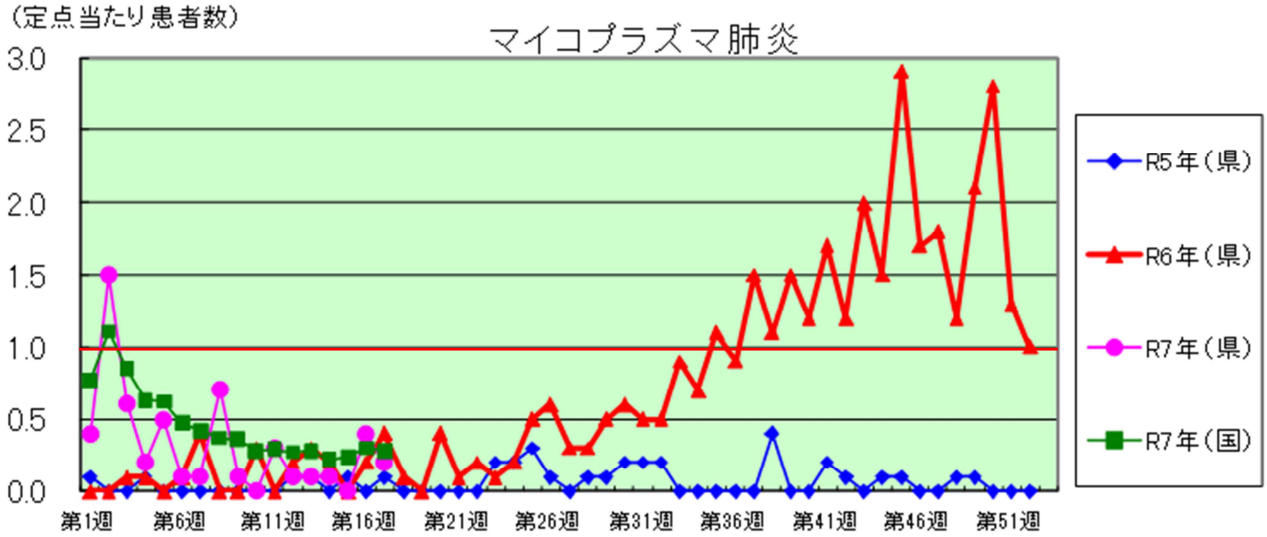


マイコプラズマ肺炎が流行しています（ゆっくりと下がってきました）

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起こります。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14 歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

2024 年第 29 週（7/15～7/21）以降、定点当たり患者数※0. 5 以上が続き、第 35週（8/26～9/1）は 1.1 となりました。（第 17 週は 0.2）国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5 以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。（県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019 年第 51 週（12/16～12/22）以来です。）今年 2025 年に入ってからは、第3週（1月 13 日～19 日）に 1.5 まで上昇しましたが、その後は 0～0.7（平均 0.3）で推移しています。

マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1，2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。



◆全数届出の感染症

全数届出の感染症

2025年 第17週までのデータに基づく

報告があった感染症と保健所は以下の通りです。

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2類感染症	結核	東部	1
		富士	1
		中部	1
		浜松市	1
4類感染症	E型肝炎	中部	1
	日本紅斑熱	熱海	1
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	静岡市	1
		中部	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	浜松市	1
	梅毒	御殿場	1
		富士	1
		浜松市	3
	百日咳	熱海	3
		東部	2
		御殿場	1
		静岡市	6
		中部	1
		西部	2
		浜松市	2

2 保健所別の警報状況

警　報　伝染性紅斑（東部、御殿場、静岡市、中部、西部、浜松市）

注意報　なし

警報・注意報・流行期入りの目安（新型コロナウイルス感染症以外

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前：今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後：流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 （インフルエンザのみ）	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル 開始基準値	警報レベル 終息基準値	注意報レベル 基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	－
感染性胃腸炎	20.0	12.0	－
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	－
伝染性紅斑	2.0	1.0	－
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	－
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安（新型コロナウイルス感染症）

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1 週間当たりの新規感染者数が人口 10 万人当たり 200 人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口 10 万人当たり 400 人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症（県独自）

保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和7年第17週(4/21～4/27)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症（定点把握）の追加：急性呼吸器感染症（ARI）】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症（ARI）が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。（令和6年11月29日　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正　令和7年4月7日施行）

令和7年第15週から急性呼吸器感染症（ARI)も報告の対象となっています

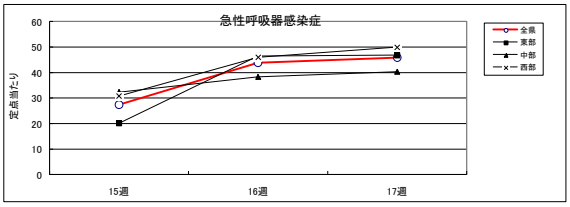
疾病	警報レベル 開始基準値	警報レベル 終息基準値	注意報レベル 基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	―
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	―
感染性胃腸炎	20.0	12.0	―
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	―
伝染性紅斑	2.0	1.0	―
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	―
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第17週（4/21～4/27）の感染症発生動向調査では、急性呼吸器感染症（ARI)の定点当たり報告数は45．9人となり、前週の43．88人から増加しました。インフルエンザの定点当たり報告数は0．35人となり、前週の0．58人から減少しました。新型コロナの定点当たり報告数も1．16人となり、前週の1．87人から減少しました。

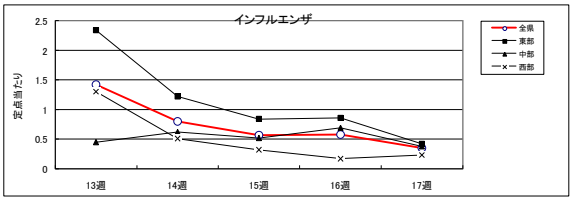
【急性呼吸器感染症】

全県で罹患数6,380、定点当たり45.9の患者発生があり、前週の43.88から増加した。定点当たり東部地区で46.8、中部地区で40.31、西部地区で49.94の患者が発生した。



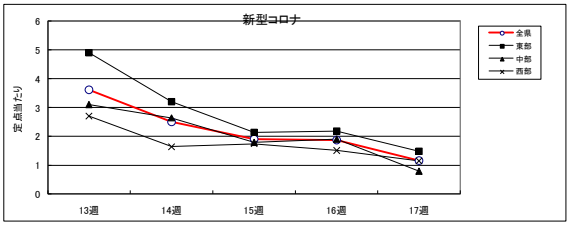
【インフルエンザ】

全県で罹患数48、定点当たり0.35の患者発生があり、前週の0.58から減少した。定点当たり東部地区で0.42、中部地区で0.38、西部地区で0.23の患者が発生した。



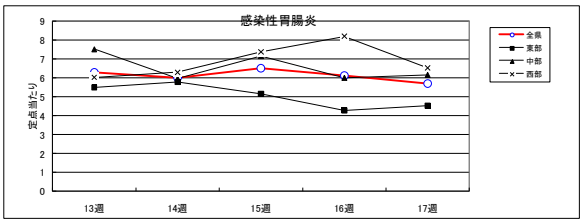
【新型コロナ】

全県で罹患数161、定点当たり1.16の患者発生があり、前週の1.87から減少した。定点当たり東部地区で1.48、中部地区で0.79、西部地区で1.15の患者が発生した。



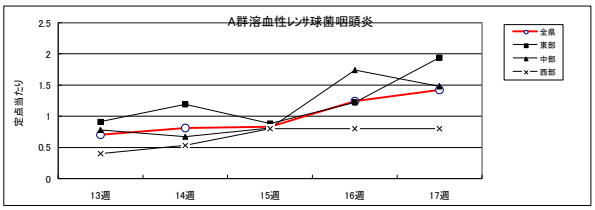
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数507、定点当たり5.7の患者発生があり、前週の6.12から減少した。定点当たり東部地区で4.53、中部地区で6.15、西部地区で6.53の患者が発生した。



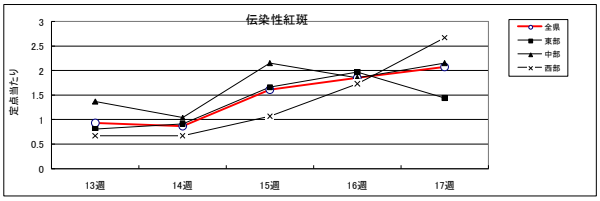
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数126、定点当たり1.42の患者発生があり、前週の1.24から増加した。定点当たり東部地区で1.94、中部地区で1.48、西部地区で0.8の患者が発生した。



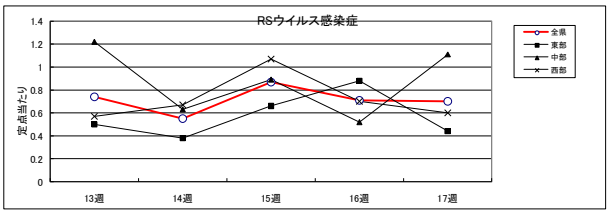
【伝染性紅斑】

全県で罹患数184、定点当たり2.07の患者発生があり、前週の1.85から増加した。定点当たり東部地区で1.44、中部地区で2.15、西部地区で2.67の患者が発生した。中部地区及び西部地区では、伝染性紅斑の警報レベルの開始基準値2.0を越えた。



【RSウイルス感染症】

全県で罹患数62、定点当たり0.7の患者発生があり、前週の0.71から僅かながら減少した。定点当たり東部地区で0.44、中部地区で1.11、西部地区で0.6の患者が発生した。



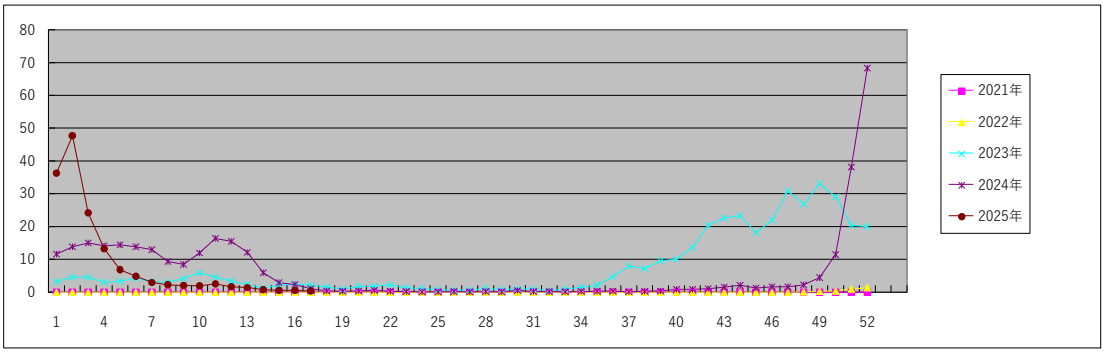
【その他】

・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は1.09で前週の1.2から減少した。

・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は1.39で前週の1.77から減少した。

・静岡県において第17週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症（45.9）、2)感染性胃腸炎（5.7）、3)伝染性紅斑（2.07）、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.42)、5)新型コロナ（1.16）、6)RSウイルス感染症(0.7)、7)インフルエンザ(0.35)であった。

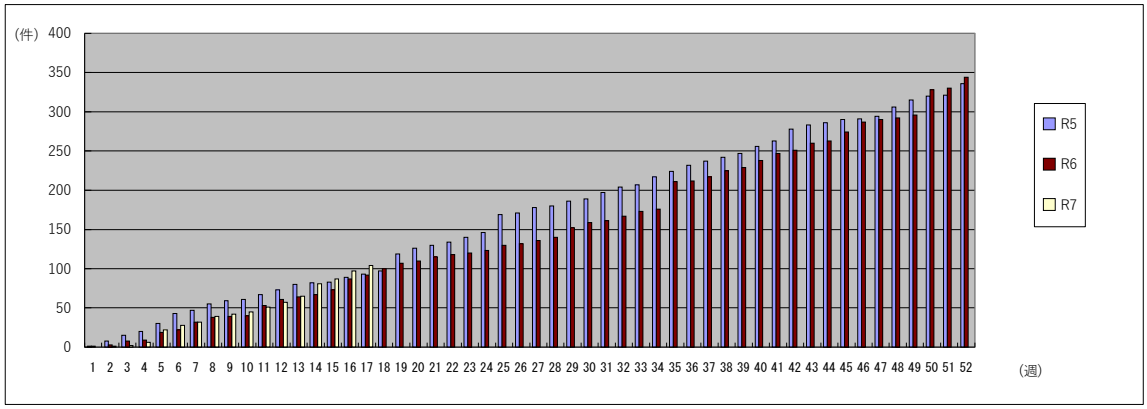
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況（2024/2025シーズン）】　（令和6年第36週～）

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R6年　第36週～第40週	静岡県	13			
	静岡市				
	浜松市				
R6年　第41週～第45週	静岡県	3	8		
	静岡市	1			3
	浜松市	2			
R6年　第46週～第50週	静岡県	20	8		
	静岡市	11	1		
	浜松市	7	1		
R6年　第51週～第52週	静岡県	17	1		
	静岡市	39	1		
	浜松市	18	2		
R7年　第1週～第5週	静岡県	19	3		
	静岡市	24			
	浜松市	25	2		
R7年　第6週～第10週	静岡県	4	1		
	静岡市	49			1
	浜松市	6			
R7年　第11週～第15週	静岡県		1		4
	静岡市	1			
	浜松市				1
R7年　第16週	静岡県				4
	静岡市				
	浜松市				
R7年　第17週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市				
合　計		259	29	0	13

【梅毒の発生状況（静岡県・累計）】
・第17週は前年同期比1.13倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスが始まりました。

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

症例定義

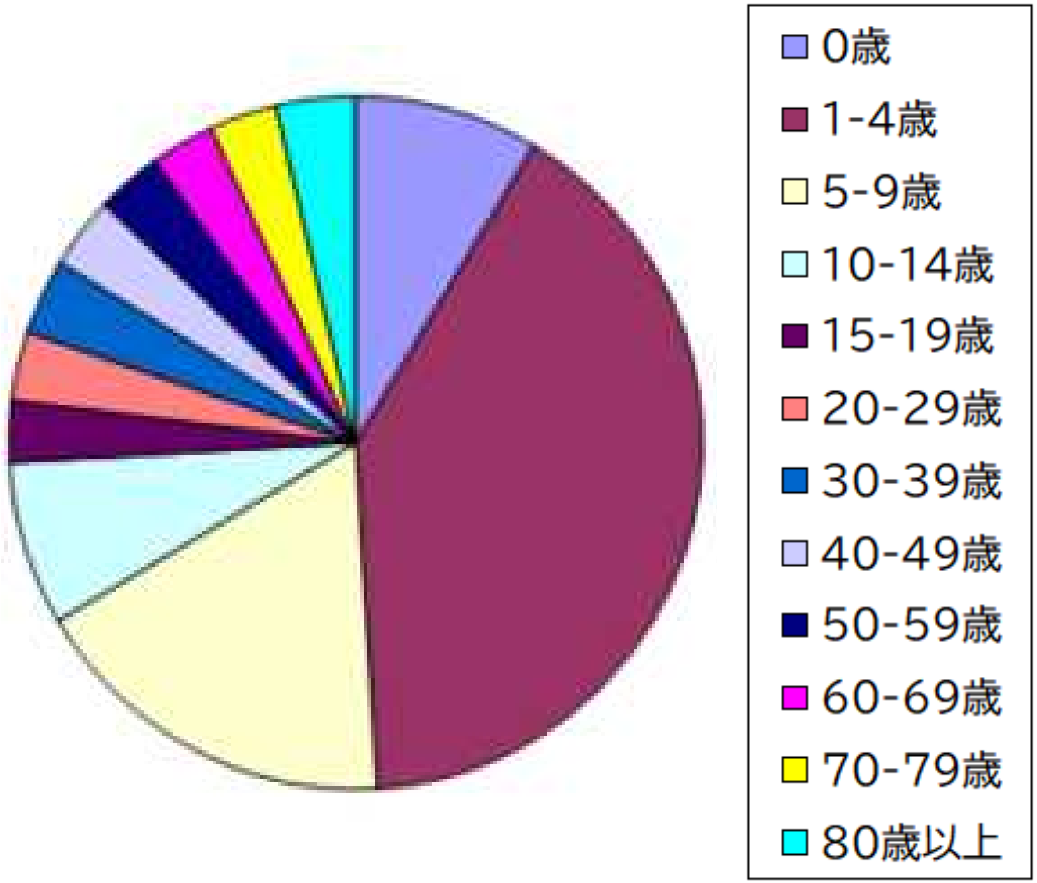
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

保健所別急性呼吸器感染症（ARI）報告数

報告数は県内139の定点医療機関からの報告数です。

管轄保健所	報告数	定点当たり
県合計	6,380	45.90
賀茂	57	19.00
熱海	204	34.00
東部	672	33.60
御殿場	750	125.00
富士	657	43.80
静岡市	918	36.72
中部	775	48.44
西部	821	43.21
浜松市	1,526	54.50

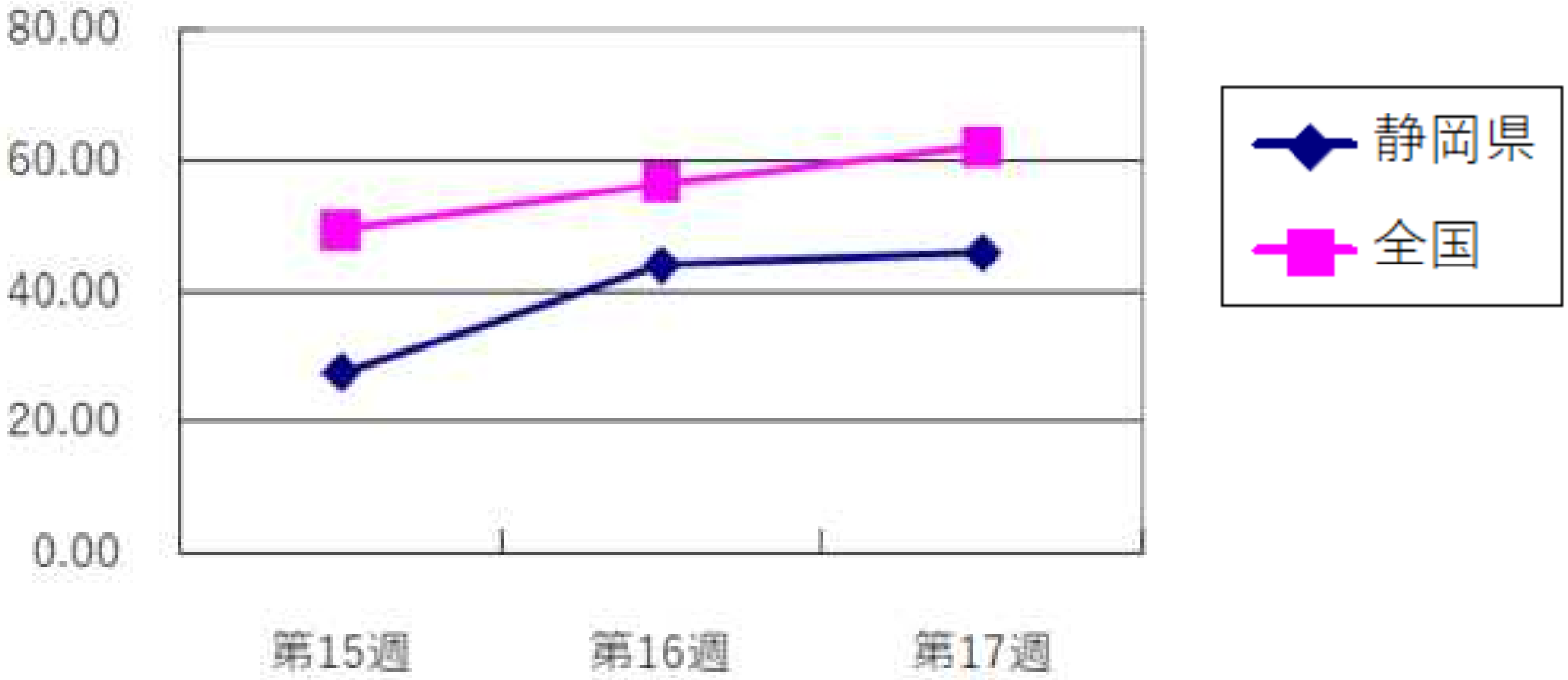
（全国　62.18）



年齢別報告割合（2025年第15週以降累計）

0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
8.6%	40.4%	17.4%	7.7%	2.9%	3.2%	3.5%	3.4%	3.1%	3.0%	3.1%	3.7%

保健所別急性呼吸器感染症（ARI）定点当たり報告数推移



	第15週	第16週	第17週
静岡県	27.44	43.88	45.90
全国	49.38	56.58	62.18

麻しん（はしか）って、どんな感染症？

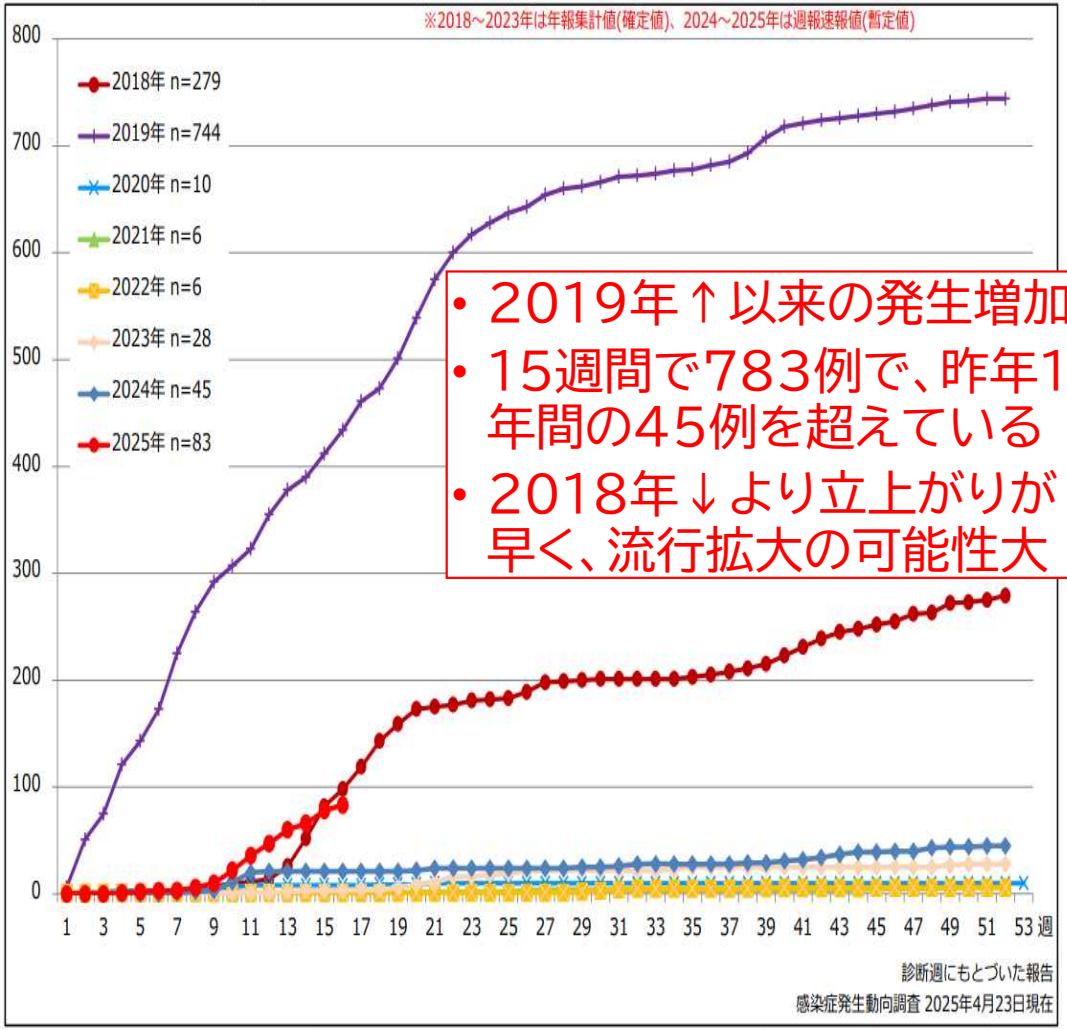
- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し（コロナの5倍）、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ空間にいるだけで感染
- **治療薬は無し**（抗麻しんウイルス薬なし）
- **ワクチンあり**（麻しん・風しん定期接種2回：1歳と5歳）
- 感染者**数100人に1人は死亡**（江戸時代は「命定め」）
- 症状は、高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しくほとんどが入院**
- 合併症は、**中耳炎（7%）、肺炎（6%）、脳炎（0.1%）**等

麻しんの詳細は、JIHS（国立健康危機管理研究機構）の感染症情報提供サイトへ
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html

麻しん　今年の国内発生状況①（国立健康危機管理研究機構のサイトより）

1. 麻しん累積報告数の推移　2018~2025年 (第1~16週)（2025年は4月20日まで）

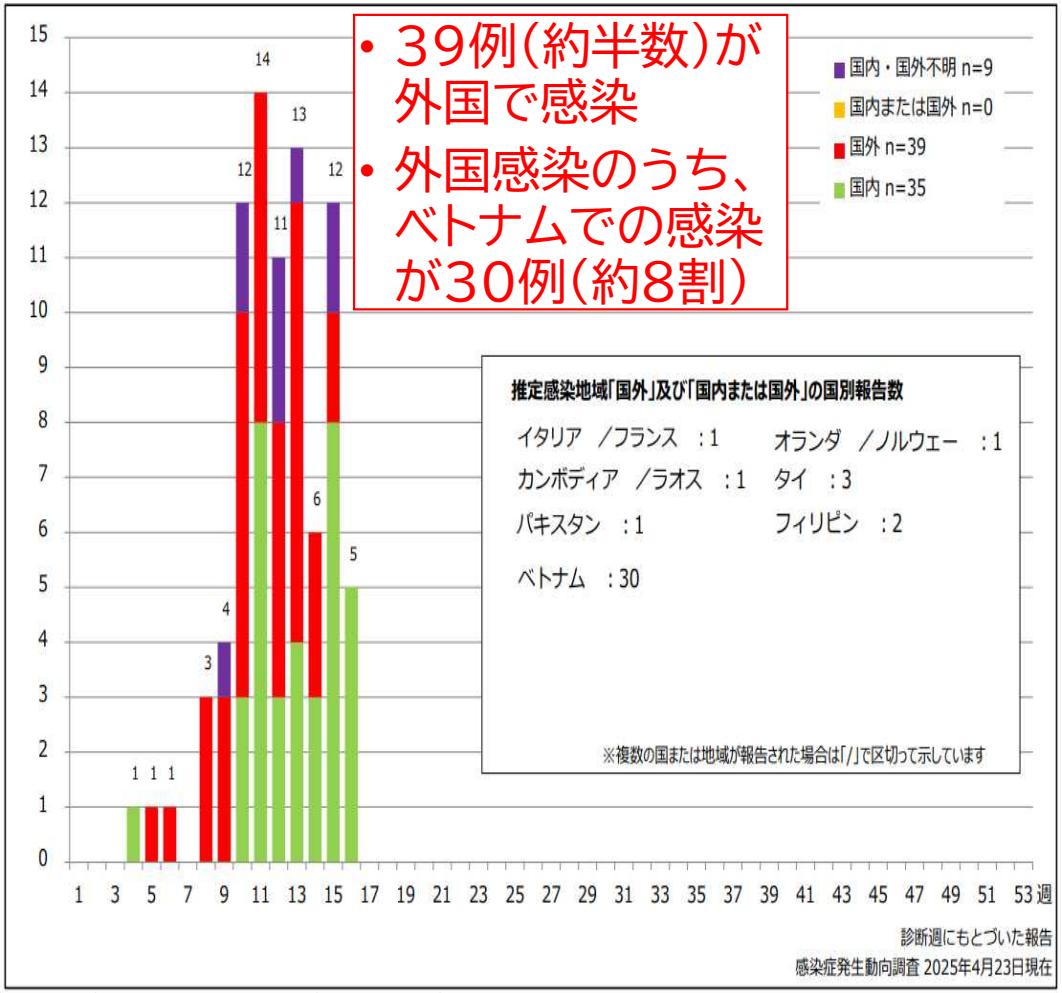
Cumulative measles cases by week, 2018-2025 (week 1-16) (based on diagnosed week as of April 23, 2025)



- 2019年↑以来の発生増加
- 15週間で783例で、昨年1年間の45例を超えている
- 2018年↓より立上がりが早く、流行拡大の可能性大

8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻しん報告数　2025年 第1~16週 (n=83)（2024年12月30日~25年4月20日）

Weekly measles cases by acquired region, week 1-16, 2025 (based on diagnosed week as of April 23, 2025)



- 39例（約半数）が外国で感染
- 外国感染のうち、ベトナムでの感染が30例（約8割）

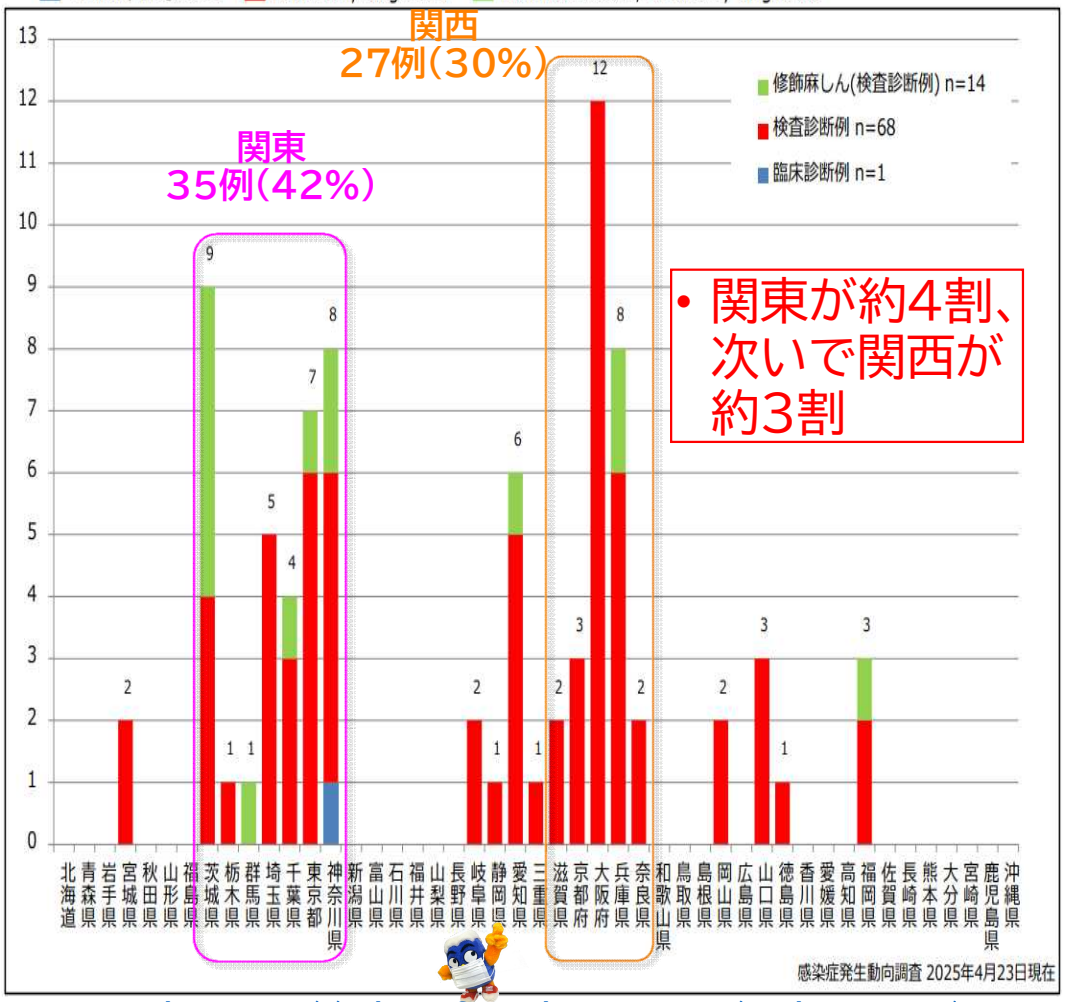
https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-16.pdf より

麻しん　今年の国内発生状況②（国立健康危機管理研究機構のサイトより）

4. 都道府県別病型別麻しん累積報告数　2025年 第1~16週 (n=83)（2024年12月30日～25年4月20日）

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-16, 2025 (as of April 23, 2025)

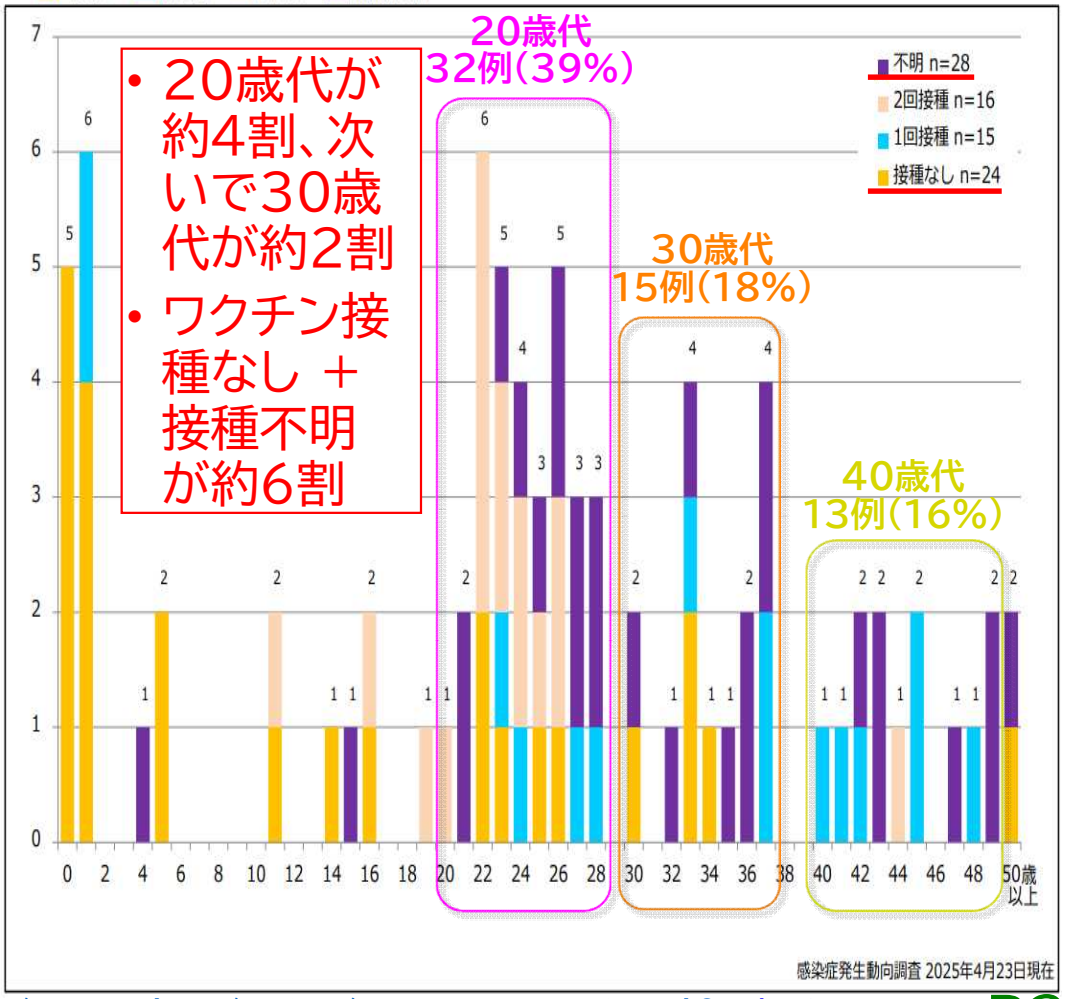
Clinically diagnosed　Laboratory diagnosed　Modified measles, Laboratory diagnosed



6. 年齢群別接種歴別麻しん累積報告数　2025年 第1~16週 (n=83)（2024年12月30日～25年4月20日）

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-16, 2025 (as of April 23, 2025)

None　MCV1　MCV2　Unknown



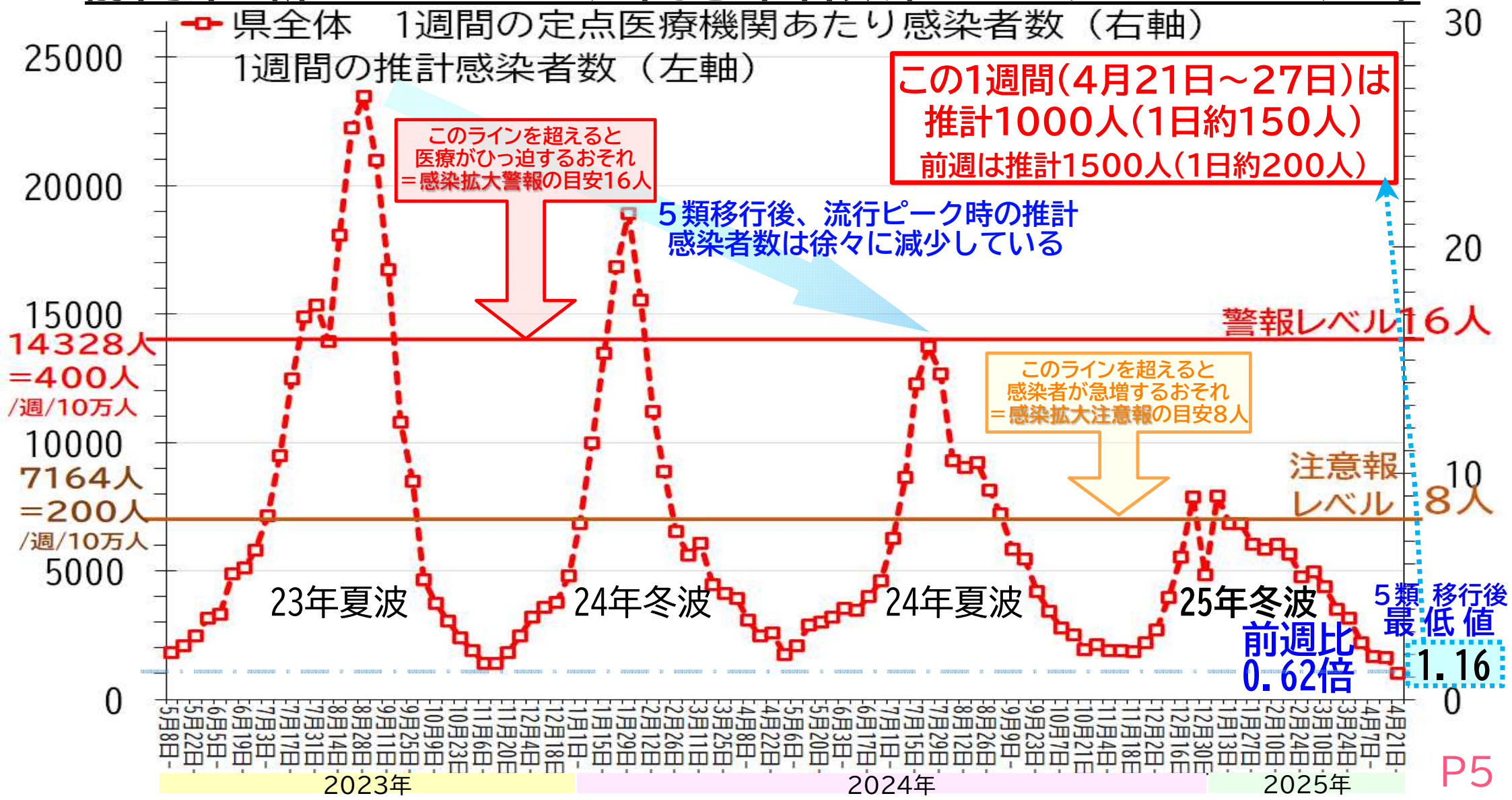
https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-16.pdf より

麻しんに関して県感染症管理センターからのお願い

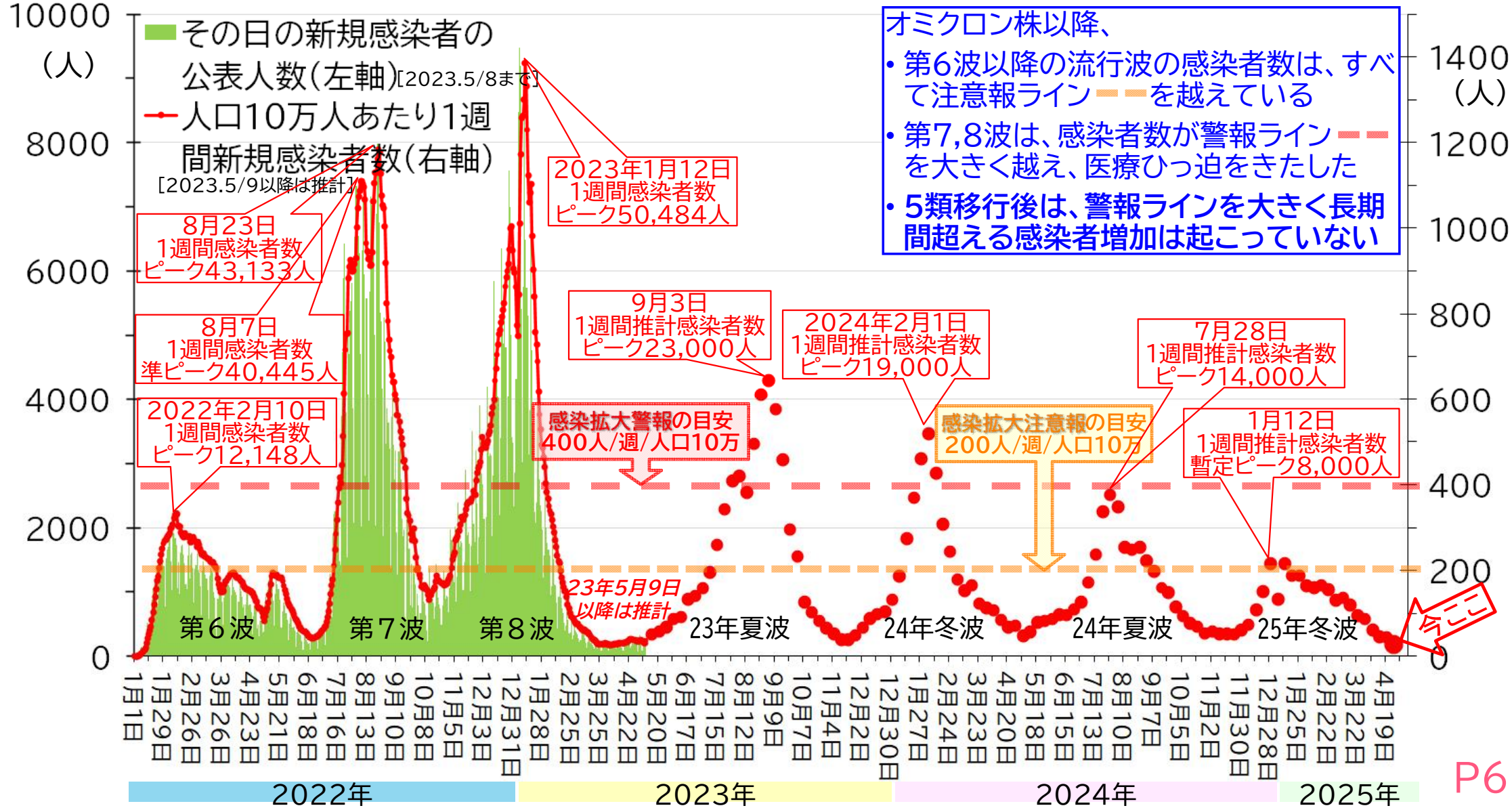
- **1歳の誕生日がきたら、**麻しん・風しん混合**(MR)ワクチンをすぐにうつ**！
- ４０歳代以下の人は、**母子手帳で、自分の麻しんワクチン接種回数を確認**し、０回・1回の人は接種（自費）の検討を！

※特に、　**首都圏・近畿**によく行く人
海外、特にベトナムに行く人
外国から来た人とよく接する人

静岡県 新型コロナ １週間感染者数(2023.5/8～2025.4/27)

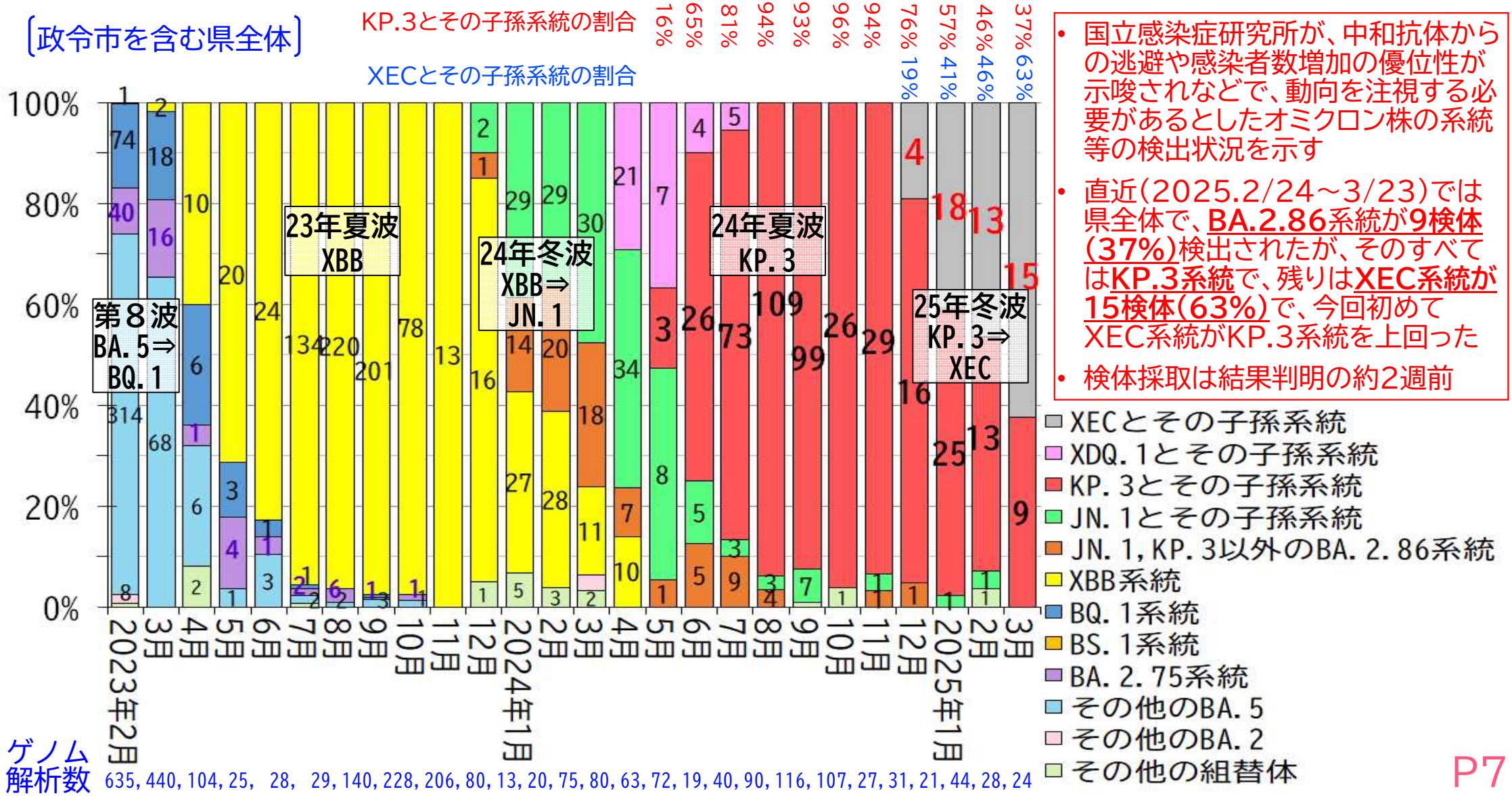


静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移（2022.1/1～2025.4/27）



静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況（2023.2月～2025.3月）

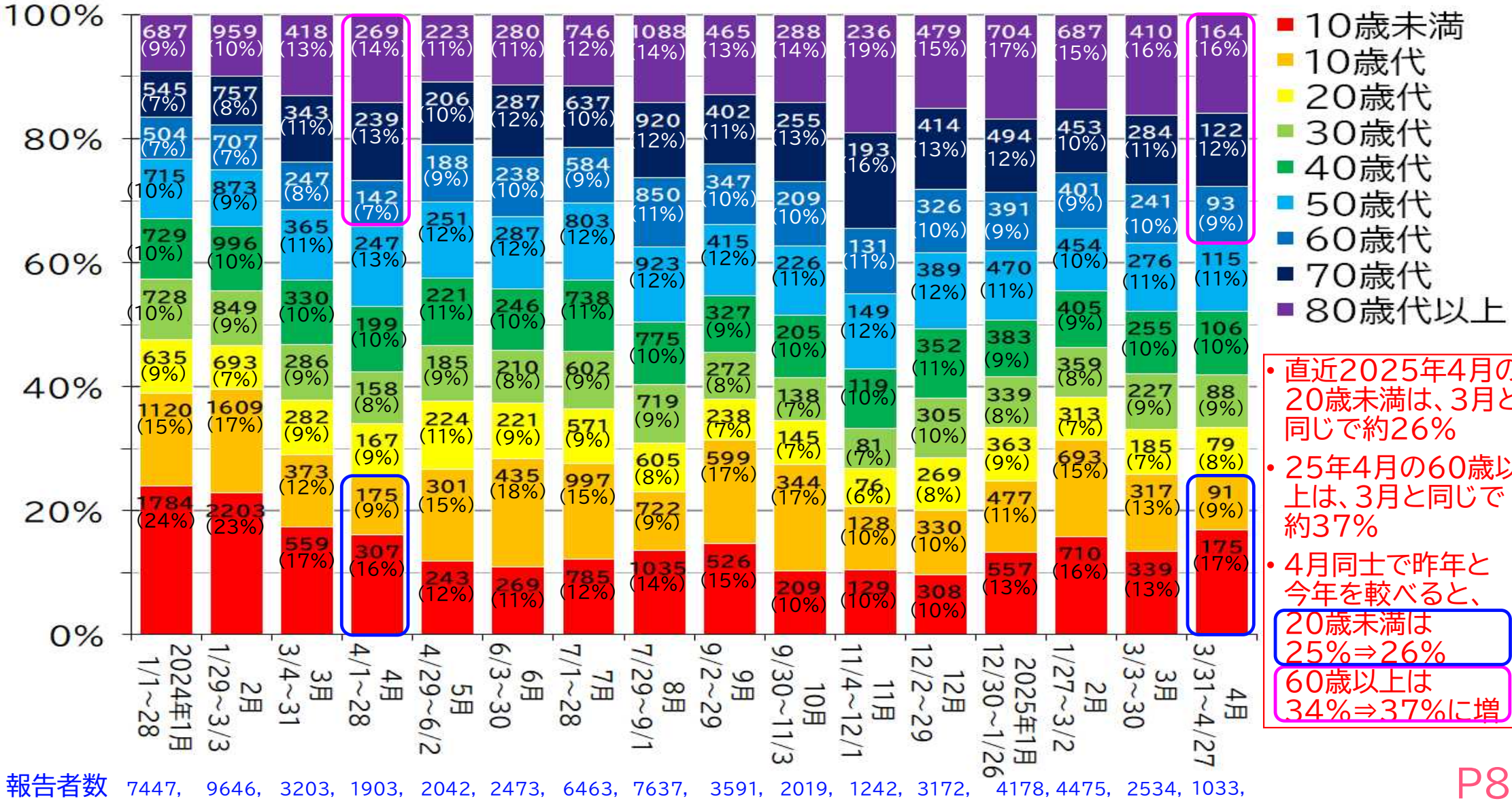
〔政令市を含む県全体〕



- 国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近(2025.2/24～3/23)では県全体で、**BA.2.86系統が9検体(37%)**検出されたが、そのすべては**KP.3系統**で、残りは**XEC系統が15検体(63%)**で、今回初めてXEC系統がKP.3系統を上回った
- 検体採取は結果判明の約2週前

ゲノム解析数 635, 440, 104, 25, 28, 29, 140, 228, 206, 80, 13, 20, 75, 80, 63, 72, 19, 40, 90, 116, 107, 27, 31, 21, 44, 28, 24

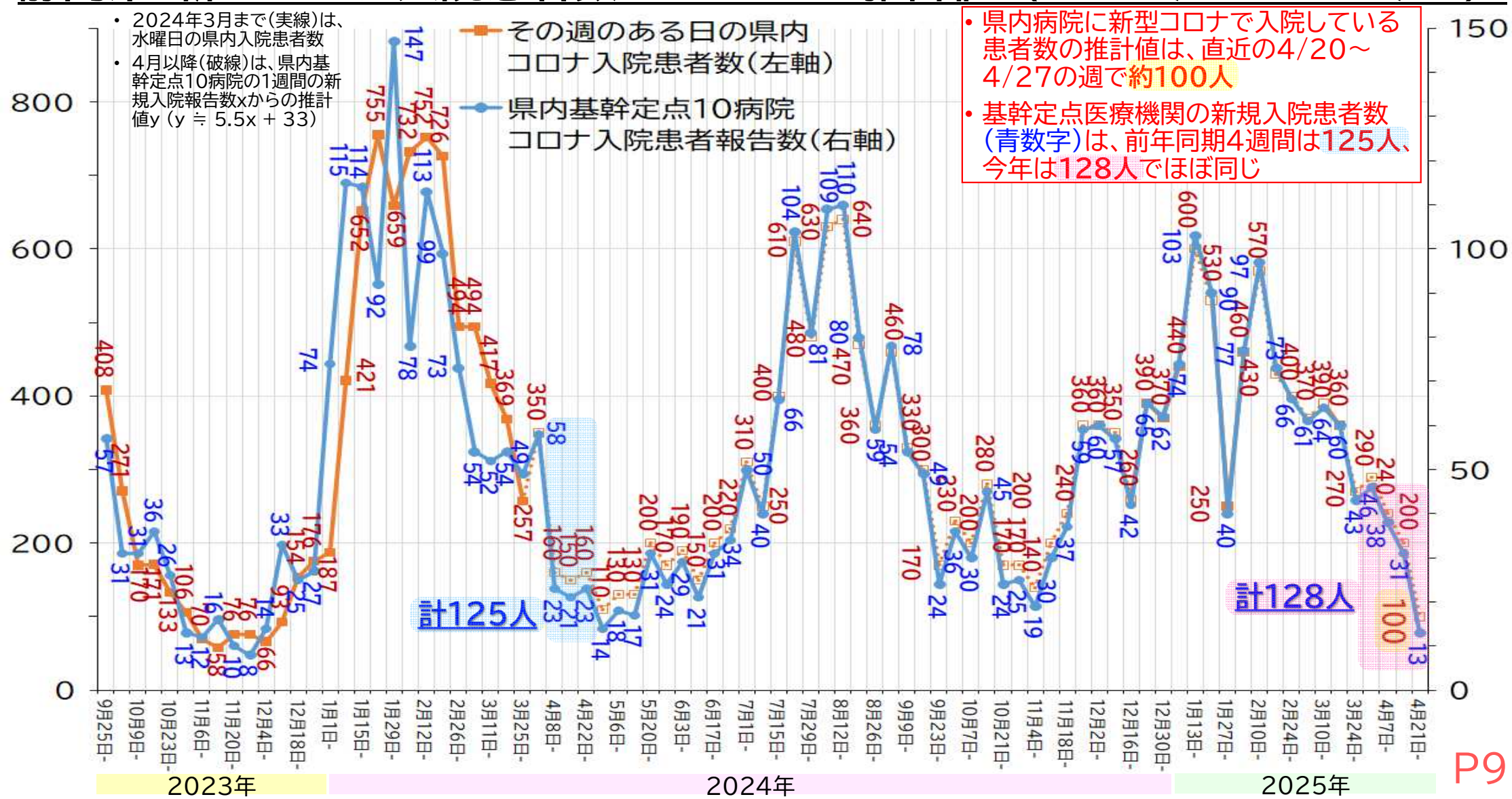
静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2024.1/1～2025.4/27)



報告者数 7447, 9646, 3203, 1903, 2042, 2473, 6463, 7637, 3591, 2019, 1242, 3172, 4178, 4475, 2534, 1033,

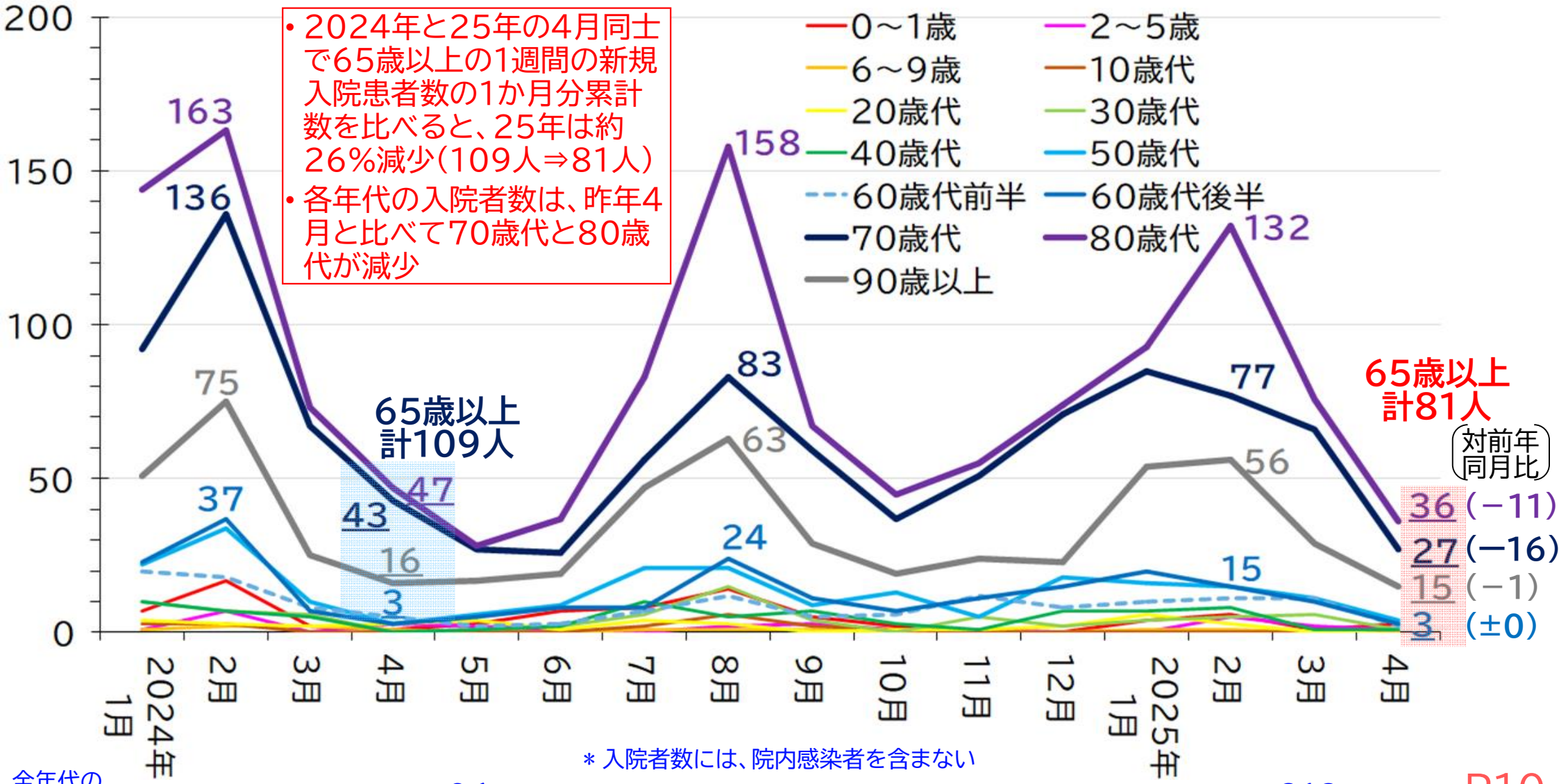
- 直近2025年4月の20歳未満は、3月と同じで約26%
- 25年4月の60歳以上は、3月と同じで約37%
- 4月同士で昨年と今年を較べると、
  20歳未満は25%⇒26%
  60歳以上は34%⇒37%に増

静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値（2024.4/1～2025.4/27）



- 県内病院に新型コロナで入院している患者数の推計値は、直近の4/20～4/27の週で約100人
- 基幹定点医療機関の新規入院患者数(青数字)は、前年同期4週間は125人、今年は128人でほぼ同じ

静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移（2024.1月～2025.4月）

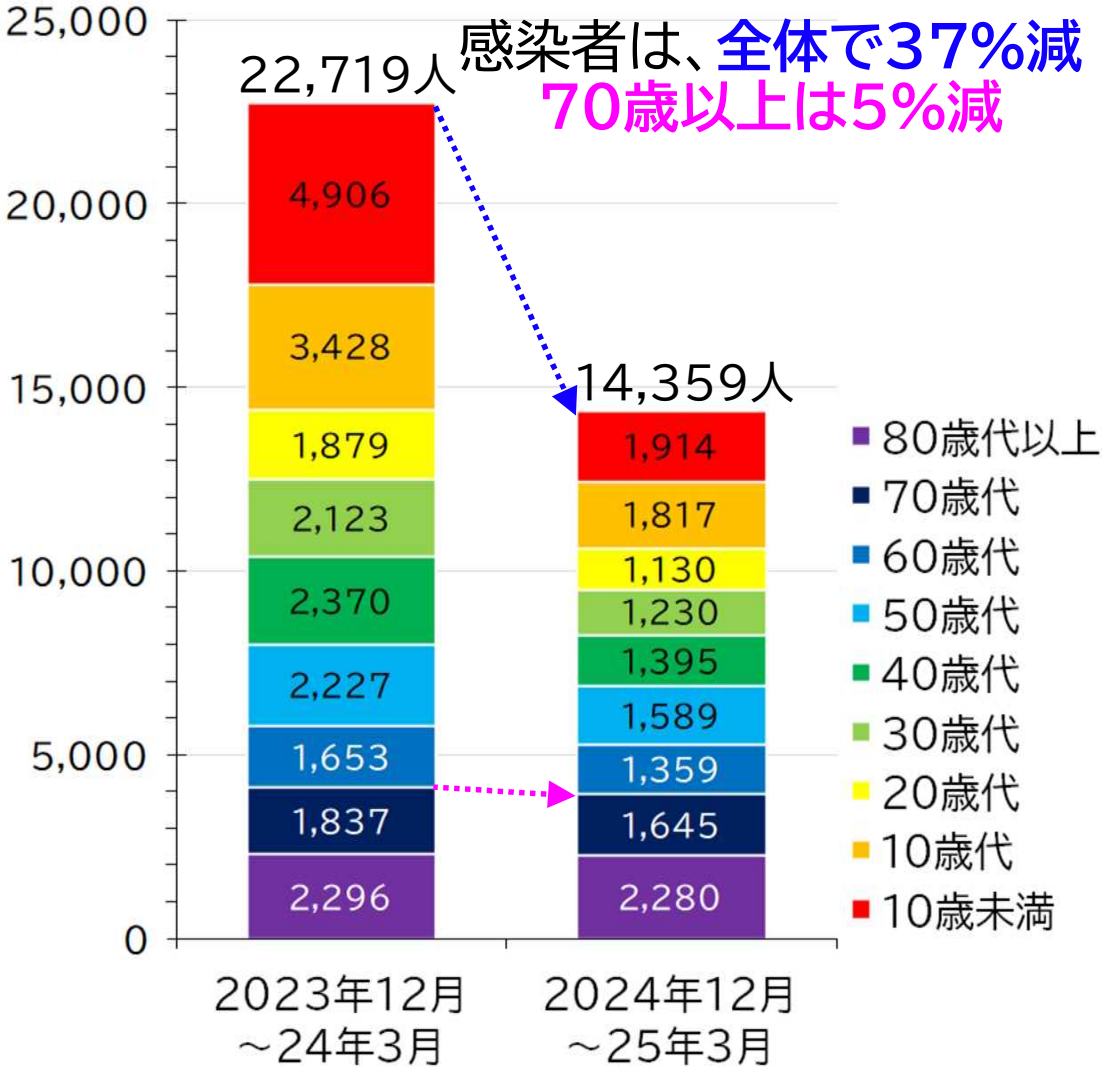


＊入院者数には、院内感染者を含まない

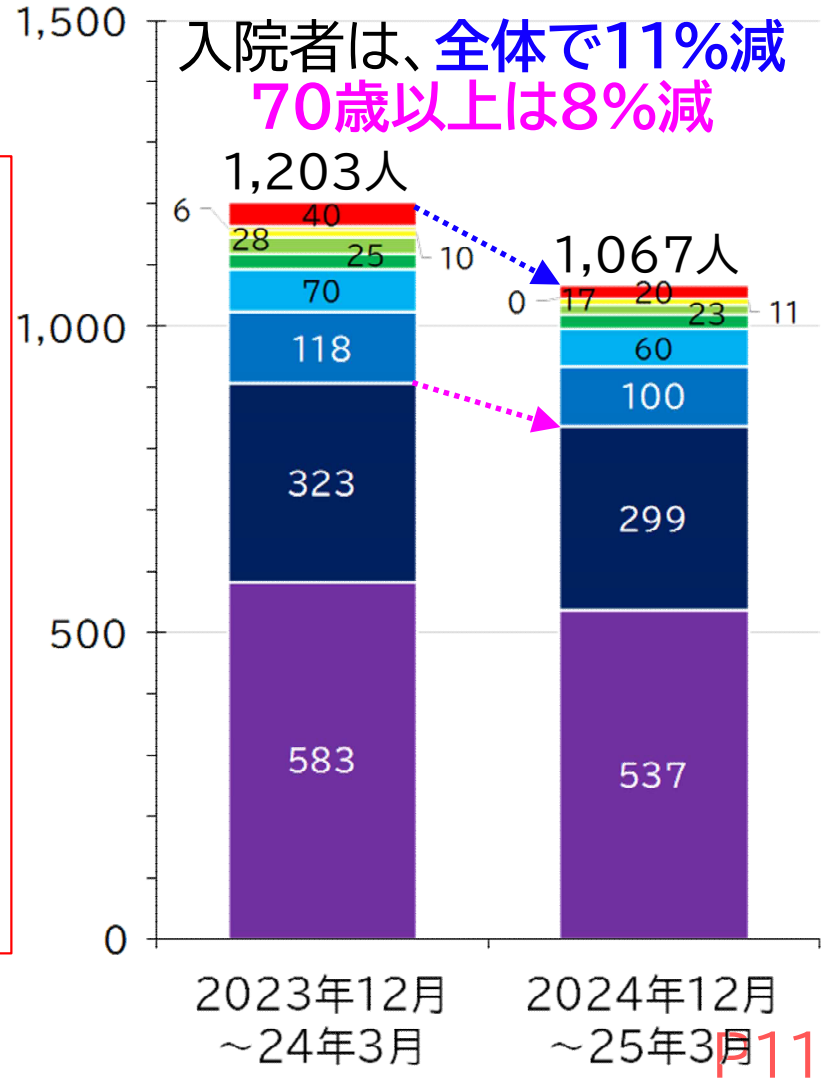
全年代の入院者数＊ 388, 509, 207, 125, 96, 115, 253, 407, 203, 135, 166, 220, 300, 334, 213, 95,

静岡県 新型コロナ 定点医療機関の2025年冬と2024年冬の感染者数・入院者数の比較

【県内139定点医療機関の感染者総数】

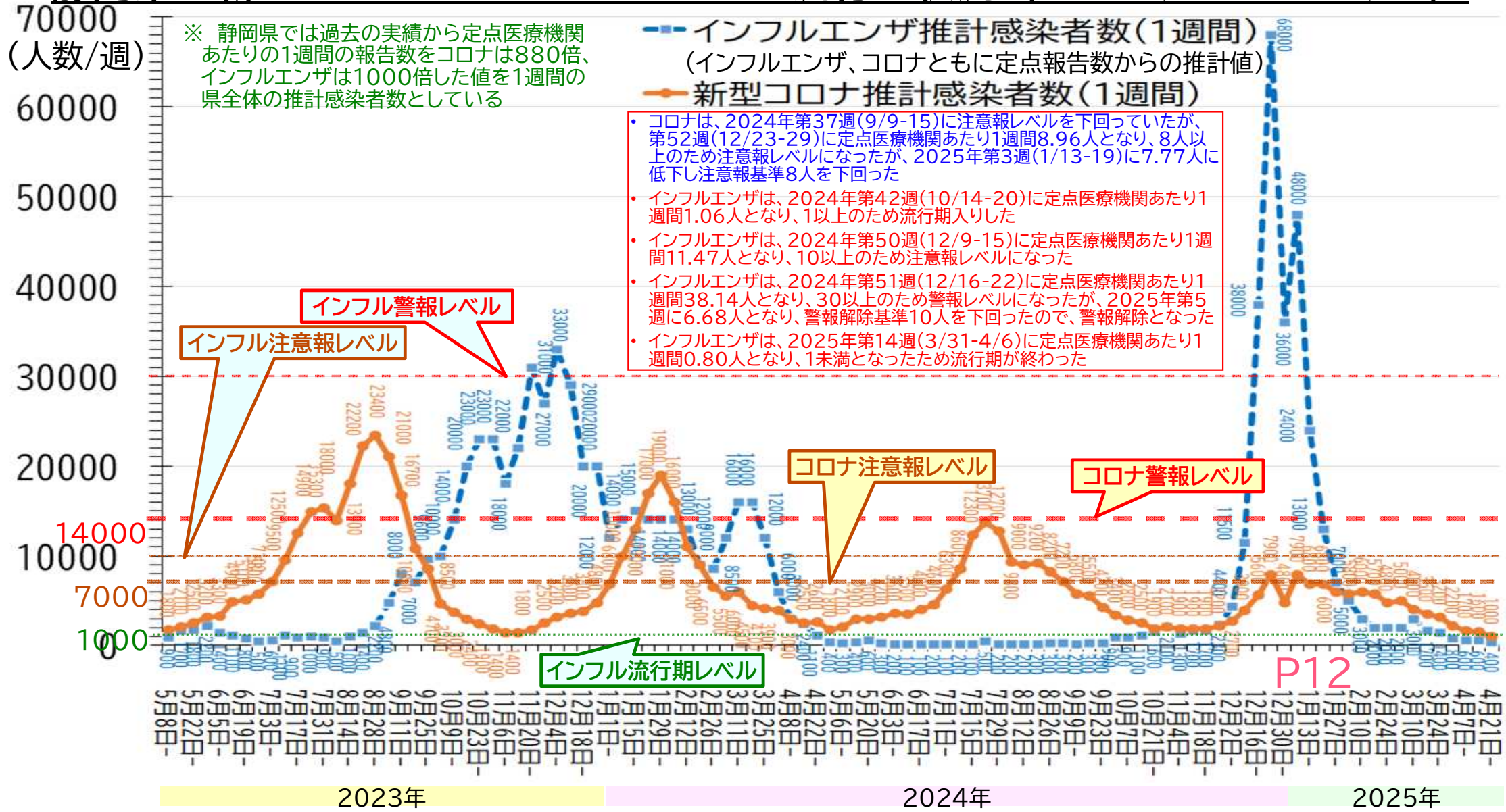


【県内10基幹定点医療機関の入院者総数】



- コロナ感染者数は、全体では約4割減少したが、高齢者はほとんど減っていない
- コロナ入院者数は、高齢者が約8割を占めているので、全体でも1割程度しか減っていない

静岡県　新型コロナとインフルエンザの流行の状況（2023.5/8～2025.4/27）



感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第　17　週　　令和7年4月21日　　～　　令和7年4月27日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	新型コロナウイルス感染症	17名
2	ヒトメタニューモ	12名
3	伝染性紅斑	11名

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
熱海	髙野医院	新型コロナウイルス感染症	6	
熱海	髙野医院	急性呼吸器感染症	53	
熱海	むらかみ小児科クリニック	百日咳	2	9歳女児、11歳男児
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	百日咳	3	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	5	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	咽頭アデノ	1	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	ヒトメタニューモ	2	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	RSウイルス感染症	5	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	感染性胃腸炎	5	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	伝染性紅斑	5	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	突発性発しん	1	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	新型コロナウイルス感染症	1	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	咽頭アデノ	6	
東部	医療法人社団真理会　函南平出クリニック	溶連菌感染症	7	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会　富士病院	インフルエンザB型	2	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	伝染性紅斑	6	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザA型	1	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	1	
御殿場	安田内科小児科医院	ノロウイルス	1	
御殿場	お八幡医院	インフルエンザB型	1	
富士	医療法人社団富岳会　小川小児科内科医院	インフルエンザB型	5	
富士	医療法人社団富岳会　小川小児科内科医院	新型コロナウイルス感染症	5	
静岡市	静岡市立静岡病院	マイコプラズマ肺炎	1	12歳男
静岡市	静岡市立静岡病院	ヒトメタニューモ	1	1歳女
静岡市	こどもクリニックみなと	マイコプラズマ肺炎	2	8歳女、14歳女
静岡市	こどもクリニックみなと	川崎病	1	1歳男
静岡市	かどたこどもクリニック	インフルエンザB型	1	
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	9	
浜松市	クリニック・パパ	咽頭アデノ	4	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザA型	1	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザB型	1	

第 17 週

		静岡県							全国				
		第 12週	第 13週	第 14週	第 15週	第 16週	今週	年累計	第 14週	第 15週	第 16週	今週	年累計
エボラ出血熱	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核		5	8	5	7	7	4	131	157	229	213	225	4160
ジフテリア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群（SARS）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群（MERS）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH5N1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザH7N9		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
細菌性赤痢		0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	16
腸管出血性大腸菌感染症		0	1	0	0	0	0	5	7	21	28	32	419
腸チフス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
パラチフス		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
E型肝炎	4類	0	0	0	1	0	1	4	12	17	16	10	178
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎		0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	47
エキノコックス症		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	9
エムポックス		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
黄熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
オムスク出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
キャサヌル森林病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ジカウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症熱性血小板減少症候群		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	9
腎症候性出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炭疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
つつが虫病		0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	1	42
デング熱		0	0	0	0	0	0	1	1	4	4	0	49
東部ウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱		0	0	1	0	0	1	2	1	0	5	3	11
日本脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハンタウイルス肺症候群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベネズエラウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発しんチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
マラリア		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
野兎病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症		1	0	2	1	0	0	20	27	27	24	23	525
レプトスピラ症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ロッキー山紅斑熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	5類	0	0	0	0	0	0	4	2	7	4	9	149
ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）		0	0	0	0	0	0	1	5	2	2	5	68
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		0	0	1	1	0	0	4	24	8	10	10	542
急性弛緩性麻痺		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く）		0	0	0	0	0	0	13	6	3	5	5	218
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	0	0	0	0	0	2	2	2	1	3	53
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	0	0	0	1	2	10	21	19	22	22	543
後天性免疫不全症候群		0	0	0	0	0	0	5	10	10	13	8	244
ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	11
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	0	0	0	1	0	7	11	10	21	10	266
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	27
侵襲性肺炎球菌感染症		3	1	2	2	2	1	61	65	61	65	77	1583
水痘（入院例に限る）		0	0	0	1	0	0	4	7	9	13	12	178
先天性風しん症候群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒		2	7	4	6	9	5	104	195	167	205	157	4279
播種性クリプトコックス症		0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	3	49
破傷風		0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	24
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	0	0	0	1	0	4	0	2	2	1	32
百日咳		1	2	5	21	8	17	75	722	1222	1884	2176	11921
風しん		0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	6
麻しん		1	0	0	0	0	0	1	6	13	5	11	96
薬剤耐性アシネトバクター感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
新型インフルエンザ等感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。（「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。）

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムポックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2025 第 17 週

		静岡県							全国				
		第12週	第13週	第14週	第15週	第16週	今週	計	第14週	第15週	第16週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	80	66	49	77	63	62	397	2,404	2,205	2,012	1,686	8,307
	咽頭結膜熱	25	20	16	16	25	24	126	750	594	755	923	3,022
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	62	72	74	110	126	506	5,148	5,020	6,250	6,672	23,090
	感染性胃腸炎	617	560	535	579	545	507	3,343	19,251	19,581	20,169	19,774	78,775
	水痘	7	2	11	9	12	13	54	815	775	868	1,138	3,596
	手足口病	1		1		3	1	6	115	126	171	247	659
	伝染性紅斑	50	83	77	143	165	184	702	1,889	2,670	2,963	3,073	10,595
	突発性発しん	14	18	15	19	19	20	105	648	652	709	850	2,859
	ヘルパンギーナ			2		4	2	8	27	40	48	67	182
	流行性耳下腺炎	1	4	5	4	1	9	24	102	129	143	209	583
小・内	インフルエンザ	233	197	111	79	80	48	748	5,667	4,621	4,627	4,209	19,124
	新型コロナウイルス感染症	553	502	348	264	260	161	2,088	10,132	8,138	6,852	5,360	30,482
眼科	急性出血性結膜炎		1					1	33	40	45	25	143
	流行性角結膜炎	6	13	10	11	9	7	56	537	564	661	630	2,392
基幹	細菌性髄膜炎		1		1			2	10	8	7	6	31
	無菌性髄膜炎		1					1	6	10	9	17	42
	マイコプラズマ肺炎	1	1	1		4	2	9	107	114	144	133	498
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）								1	2	3	2	8
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）								86	117	114	84	401

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎（オウム病は除く）、感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日（第19週）から五類感染症（定点把握対象）に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2025 第 17 週

		静岡県						全国			
		第12週	第13週	第14週	第15週	第16週	今週	第14週	第15週	第16週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.90	0.74	0.55	0.87	0.71	0.70	0.80	0.93	0.85	0.72
	咽頭結膜熱	0.28	0.22	0.18	0.18	0.28	0.27	0.25	0.25	0.32	0.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	0.70	0.81	0.83	1.24	1.42	1.71	2.12	2.64	2.83
	感染性胃腸炎	6.93	6.29	6.01	6.51	6.12	5.70	6.41	8.26	8.54	8.39
	水痘	0.08	0.02	0.12	0.10	0.13	0.15	0.27	0.33	0.37	0.48
	手足口病	0.01		0.01		0.03	0.01	0.04	0.05	0.07	0.10
	伝染性紅斑	0.56	0.93	0.87	1.61	1.85	2.07	0.63	1.13	1.25	1.30
	突発性発しん	0.16	0.20	0.17	0.21	0.21	0.22	0.22	0.27	0.30	0.36
	ヘルパンギーナ			0.02		0.04	0.02	0.01	0.02	0.02	0.03
	流行性耳下腺炎	0.01	0.04	0.06	0.04	0.01	0.10	0.03	0.05	0.06	0.09
小・内	インフルエンザ	1.68	1.42	0.80	0.57	0.58	0.35	1.20	1.19	1.20	1.09
	新型コロナウイルス感染症	3.98	3.61	2.50	1.90	1.87	1.16	2.14	2.10	1.77	1.39
眼科	急性出血性結膜炎		0.05					0.05	0.06	0.06	0.04
	流行性角結膜炎	0.29	0.59	0.45	0.50	0.41	0.32	0.77	0.81	0.95	0.91
基幹	細菌性髄膜炎		0.10		0.10			0.02	0.02	0.01	0.01
	無菌性髄膜炎		0.10					0.01	0.02	0.02	0.04
	マイコプラズマ肺炎	0.10	0.10	0.10		0.40	0.20	0.22	0.24	0.30	0.28
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.00	0.01	0.00
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.18	0.24	0.24	0.18

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数＝定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症保健所別集計表

第 17 週　　定点把握感染症　保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	62	0.70	24	0.27	126	1.42	507	5.70	13	0.15
賀茂							5	2.50		
熱海					11	2.75	20	5.00		
東部	9	0.69	9	0.69	30	2.31	34	2.62	3	0.23
御殿場	2	0.50	1	0.25	11	2.75	44	11.00		
富士	3	0.33	2	0.22	10	1.11	42	4.67		
静岡市	25	1.56	3	0.19	28	1.75	96	6.00		
中部	5	0.45	1	0.09	12	1.09	70	6.36	4	0.36
西部	10	0.83	1	0.08	13	1.08	115	9.58	4	0.33
浜松市	8	0.44	7	0.39	11	0.61	81	4.50	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	1	0.01	184	2.07	20	0.22	2	0.02	9	0.10
賀茂										
熱海			1	0.25	2	0.50				
東部			21	1.62	5	0.38	1	0.08	3	0.23
御殿場			14	3.50	2	0.50			1	0.25
富士			10	1.11	1	0.11			1	0.11
静岡市			46	2.88	3	0.19				
中部			12	1.09	2	0.18			1	0.09
西部			35	2.92	1	0.08			1	0.08
浜松市	1	0.06	45	2.50	4	0.22	1	0.06	2	0.11

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関（定点）数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	48	0.35	161	1.16	8.0	16.0	89	50
賀茂			4	1.33	13.0	26.0	2	1
熱海	2	0.33	16	2.67	9.0	18.0	4	2
東部	3	0.15	18	0.90	8.0	16.0	13	7
御殿場	6	1.00	16	2.67	17.0	34.0	4	2
富士	10	0.67	20	1.33	11.0	22.0	9	6
静岡市	16	0.64	20	0.80	6.0	12.0	16	9
中部			13	0.76	8.0	16.0	11	6
西部	4	0.21	24	1.26	10.0	20.0	12	7
浜松市	7	0.25	30	1.07	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日（第19週）から五類（定点把握対象）に追加されました。

第 17 週　　定点把握感染症　保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		7	0.32	0		0		2	0.20
賀茂										
熱海										
東部			2	0.50						
御殿場										
富士									1	1.00
静岡市										
中部									1	1.00
西部										
浜松市			5	1.67						

保健所名	クラミジア肺炎（オウム病は除く）		感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）		指定届出機関（定点）数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	眼科	基幹
総数	0		0		22	10
賀茂						1
熱海						1
東部					4	1
御殿場						
富士					3	1
静岡市					5	2
中部					3	1
西部					4	1
浜松市					3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2025 第 17 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計
RSウイルス感染症	6	9	25	11	5	2	3	1							62
咽頭結膜熱			11	1	4	2	2		1			2		1	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	7	11	17	24	9	16	7	13	11	2	7	126
感染性胃腸炎	3	21	64	43	41	35	36	44	34	31	31	79	11	34	507
水痘		1						2	1	2	2	5			13
手足口病			1												1
伝染性紅斑		5	8	16	18	25	37	22	18	15	7	12		1	184
突発性発しん		5	13	2											20
ヘルパンギーナ				1				1							2
流行性耳下腺炎					2	2	3	1	1						9

年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	1		1		2	3		4	2	1	6	12	3	2	1	3	3		1	3	48
新型コロナウイルス感染症	3	4	3	2	2	2	2	2	3	6	4	17	2	14	8	17	18	11	21	20	161

年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
急性出血性結膜炎																				0
流行性角結膜炎						1									1	1	1		3	7

年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
細菌性髄膜炎																	0
無菌性髄膜炎																	0
マイコプラズマ肺炎			1	1													2
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																	0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																	0

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

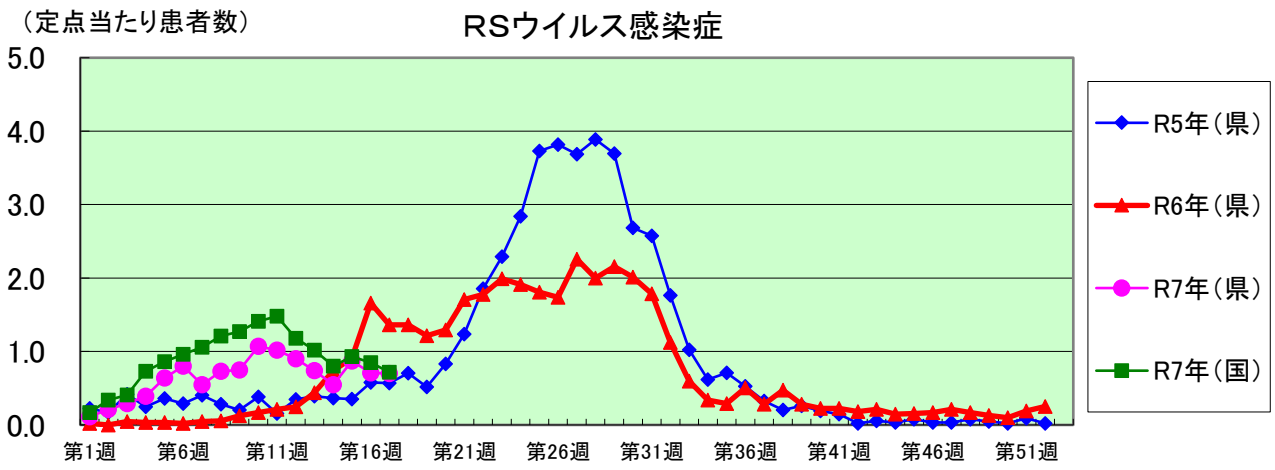
2025 第 17 週

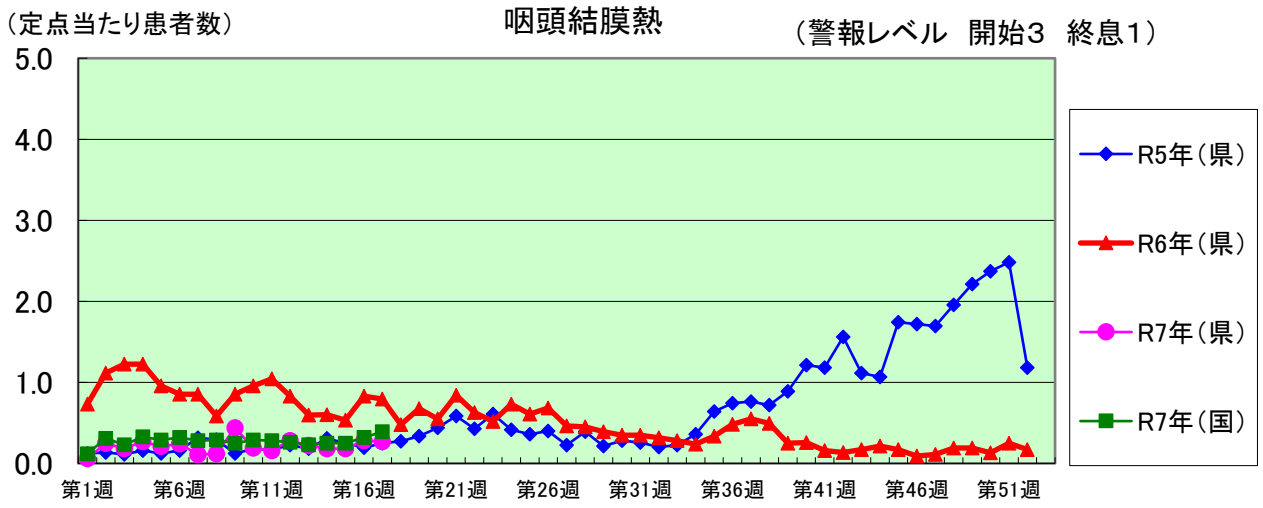
年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計
RSウイルス感染症	0.07	0.10	0.28	0.12	0.06	0.02	0.03	0.01							0.70
咽頭結膜熱			0.12	0.01	0.04	0.02	0.02		0.01			0.02		0.01	0.27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.02	0.08	0.12	0.19	0.27	0.10	0.18	0.08	0.15	0.12	0.02	0.08	1.42
感染性胃腸炎	0.03	0.24	0.72	0.48	0.46	0.39	0.40	0.49	0.38	0.35	0.35	0.89	0.12	0.38	5.70
水痘		0.01						0.02	0.01	0.02	0.02	0.06			0.15
手足口病			0.01												0.01
伝染性紅斑		0.06	0.09	0.18	0.20	0.28	0.42	0.25	0.20	0.17	0.08	0.13		0.01	2.07
突発性発しん		0.06	0.15	0.02											0.22
ヘルパンギーナ				0.01				0.01							0.02
流行性耳下腺炎					0.02	0.02	0.03	0.01	0.01						0.10

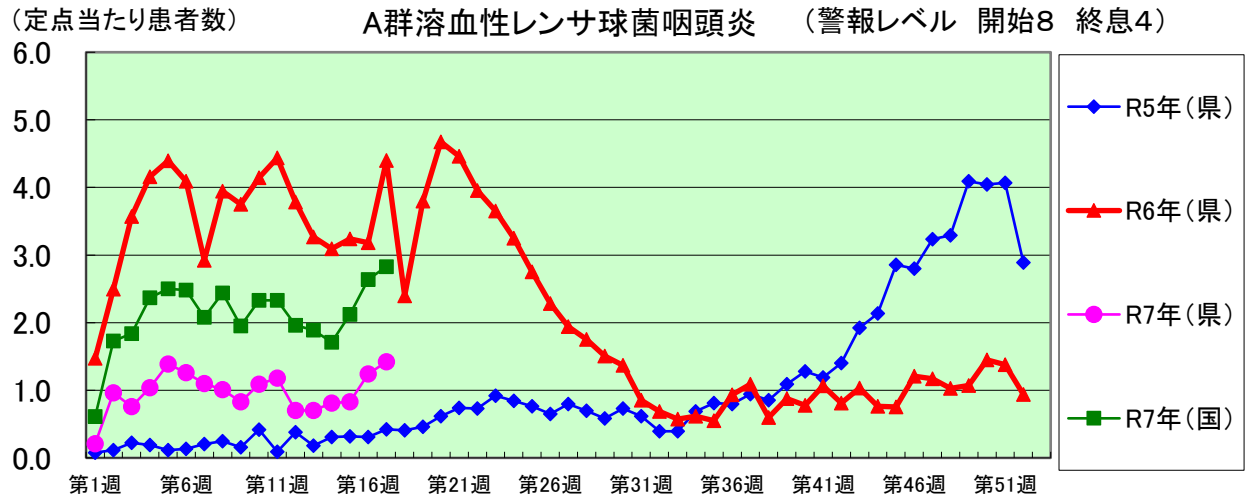
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	0.01		0.01		0.01	0.02		0.03	0.01	0.01	0.04	0.09	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02		0.01	0.02	0.35
新型コロナウイルス感染症	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.04	0.03	0.12	0.01	0.10	0.06	0.12	0.13	0.08	0.15	0.14	1.16

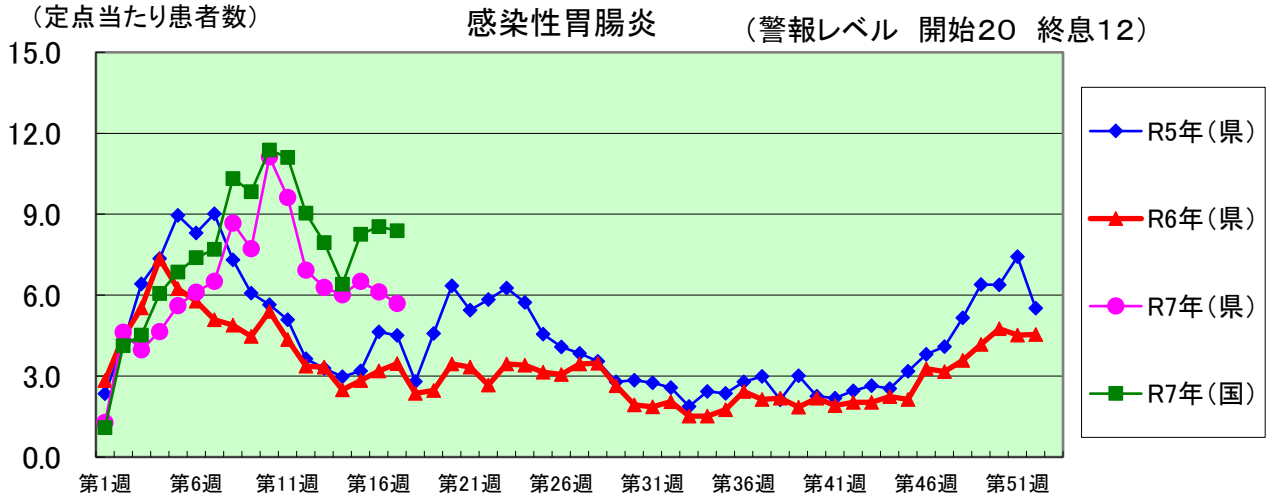
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		計
急性出血性結膜炎																				0	0.00
流行性角結膜炎						0.05									0.05	0.05	0.05		0.14	0	0.32

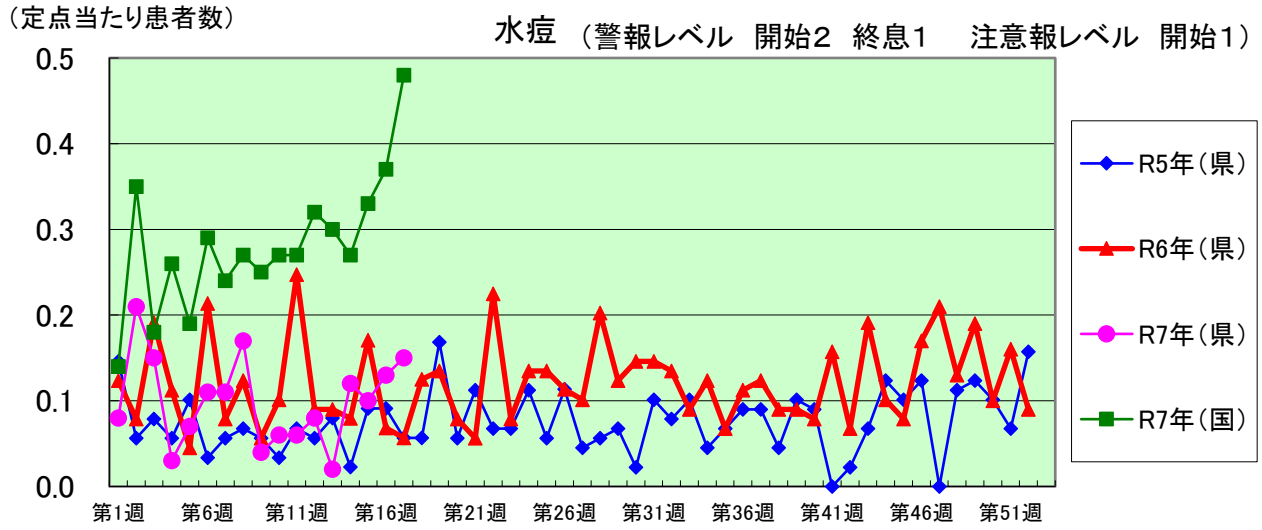
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
細菌性髄膜炎																	0.00
無菌性髄膜炎																	0.00
マイコプラズマ肺炎			0.10	0.10													0.20
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																	0.00

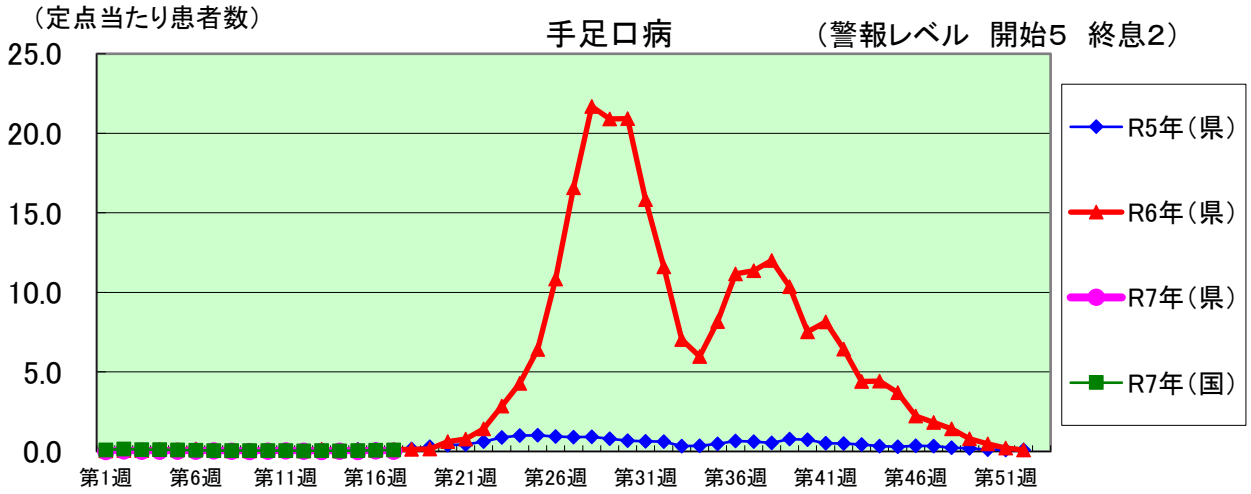

（定点当たり患者数）
RSウイルス感染症
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

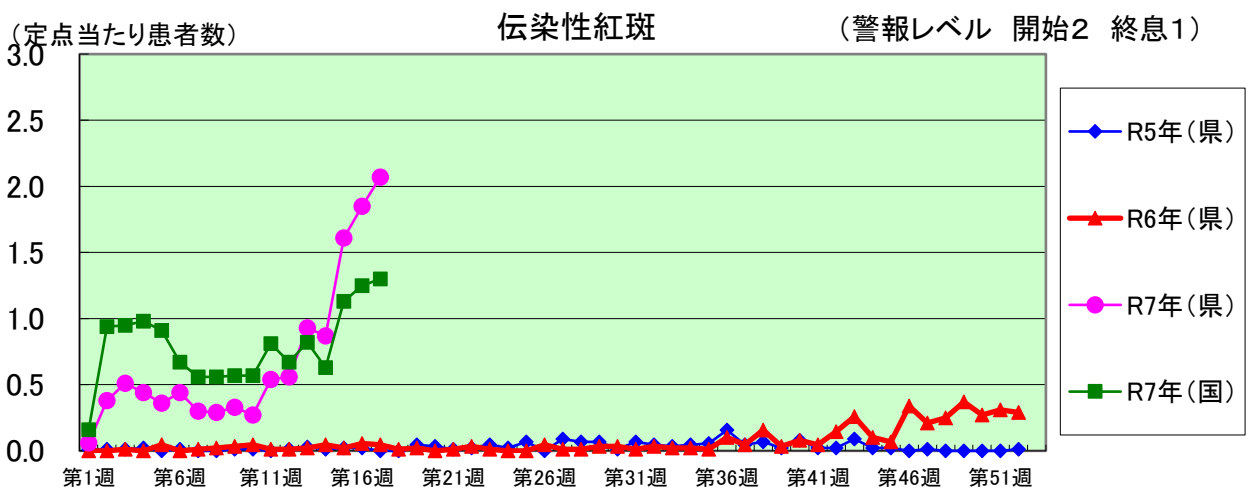

（定点当たり患者数）
咽頭結膜熱
（警報レベル　開始３　終息１）
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

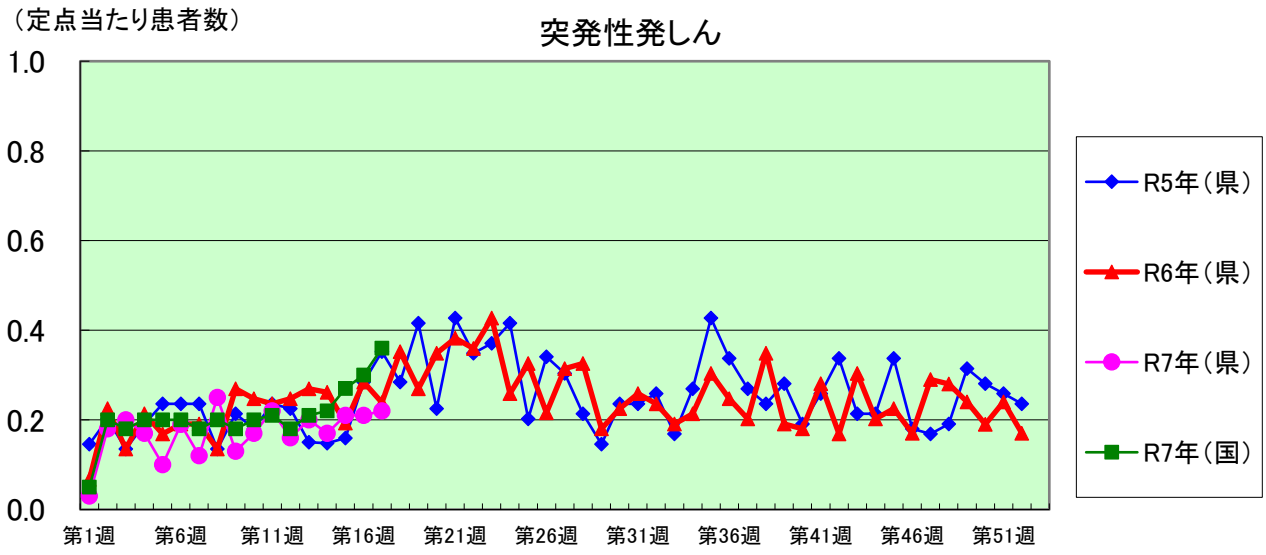

（定点当たり患者数）
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
（警報レベル　開始８　終息４）
6.0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

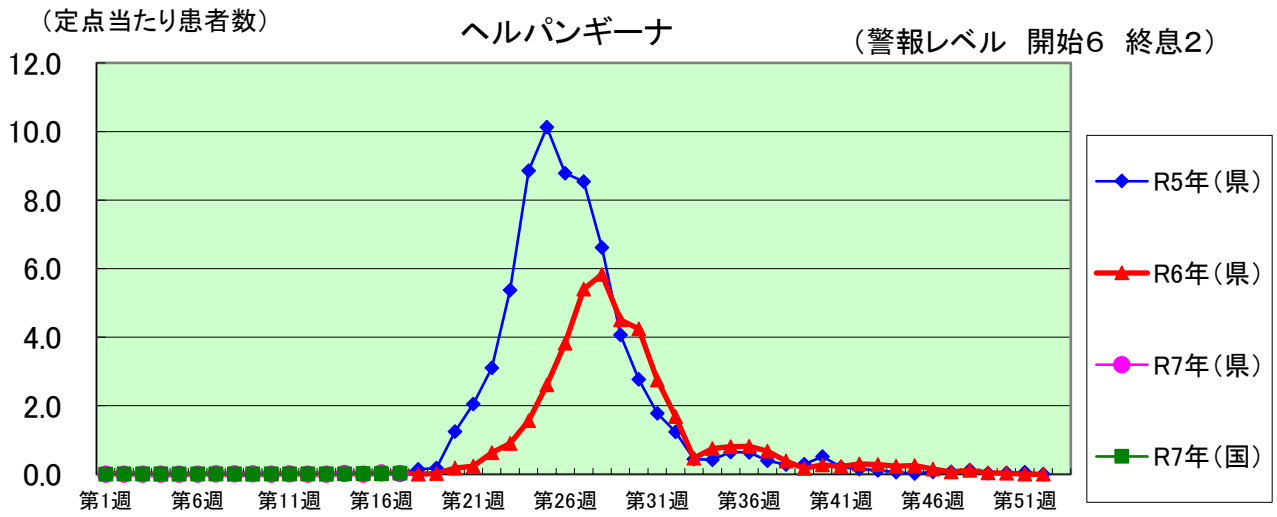

（定点当たり患者数）
感染性胃腸炎
（警報レベル　開始20　終息12）
15.0
12.0
9.0
6.0
3.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

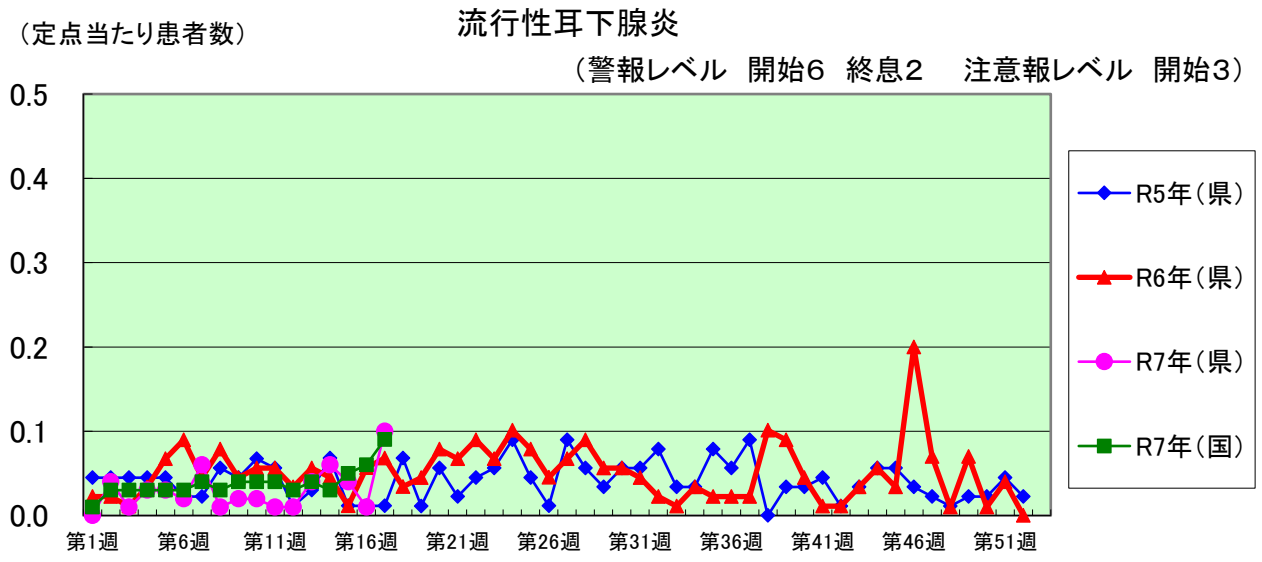

（定点当たり患者数）
水痘
（警報レベル　開始2　終息1　注意報レベル　開始1）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

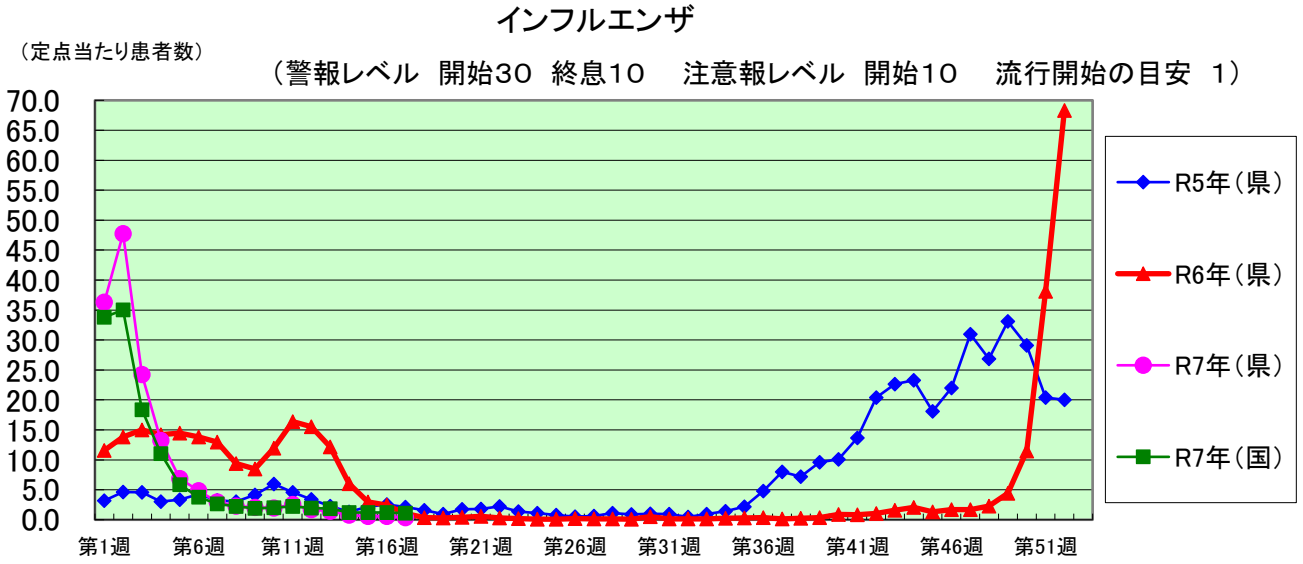

（定点当たり患者数）
手足口病
（警報レベル　開始5　終息2）
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

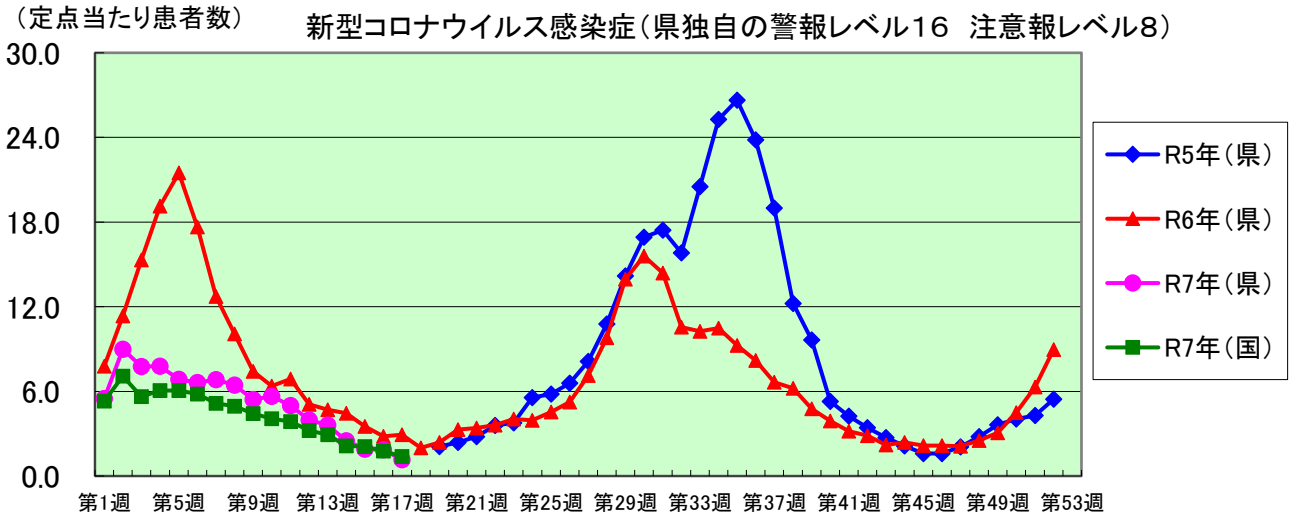

伝染性紅斑
（定点当たり患者数）
（警報レベル　開始2　終息1）
3.0
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

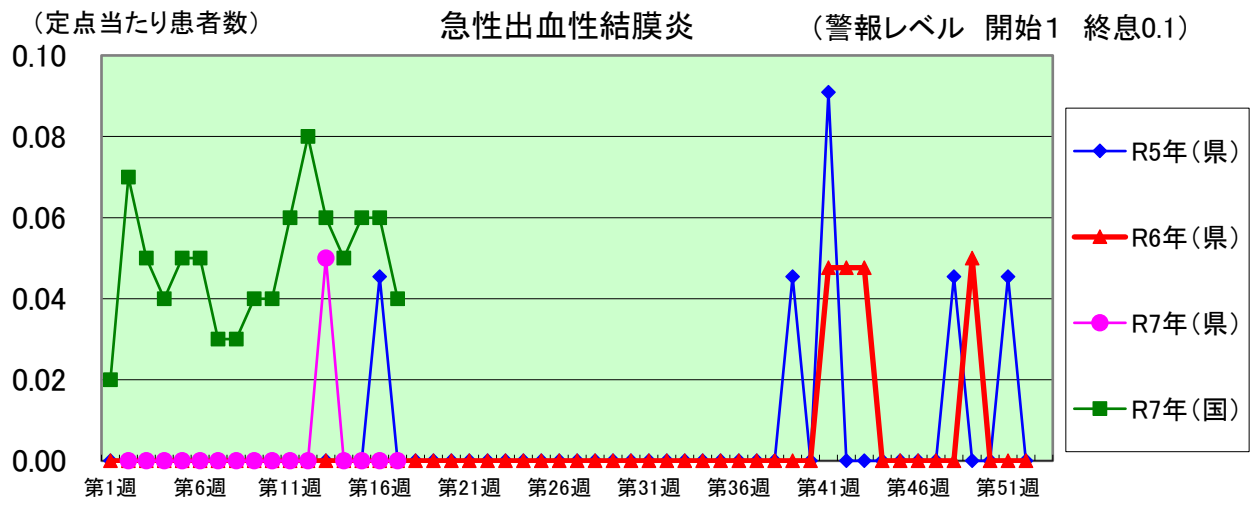

突発性発しん
（定点当たり患者数）
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

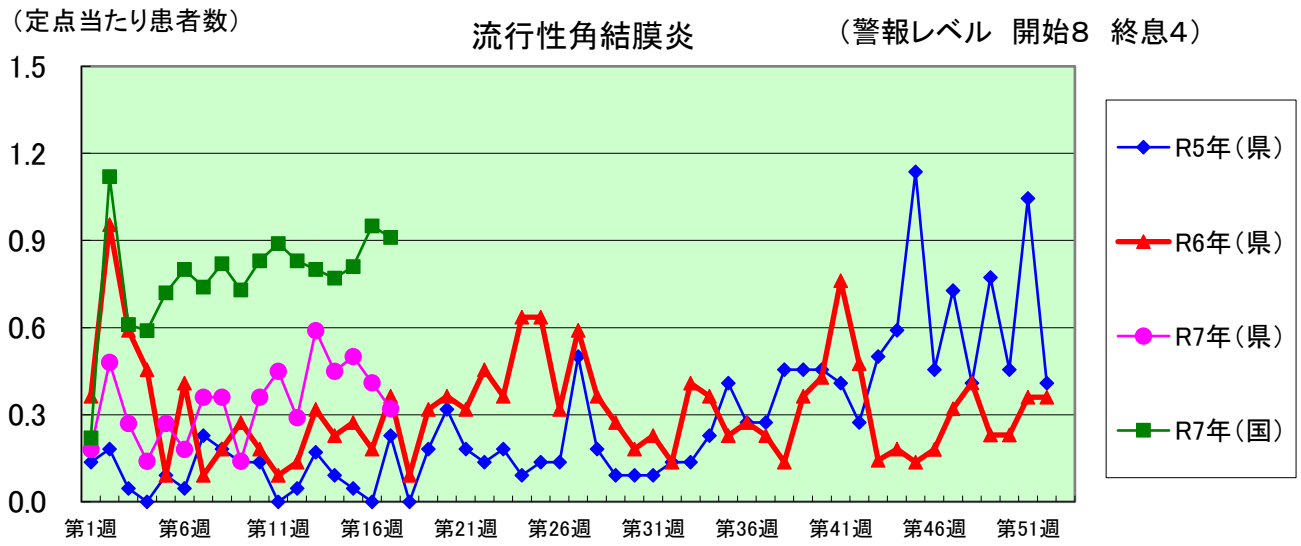

ヘルパンギーナ
（定点当たり患者数）
（警報レベル　開始6　終息2）
12.0
10.0
8.0
6.0
4.0
2.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

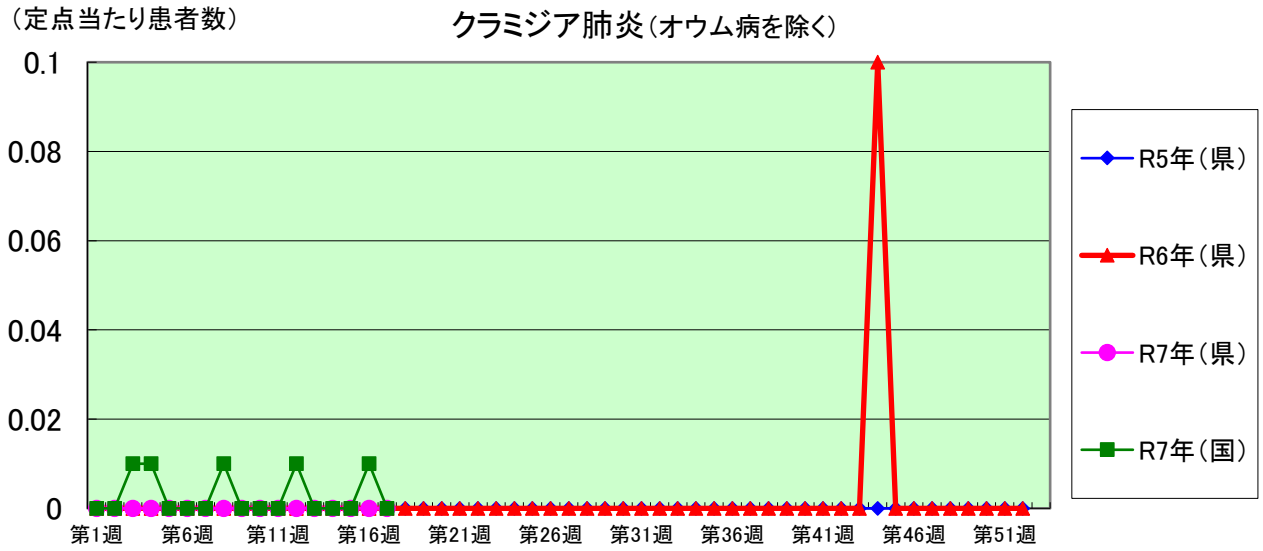

（定点当たり患者数）
流行性耳下腺炎
（警報レベル　開始6　終息2　　注意報レベル　開始3）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

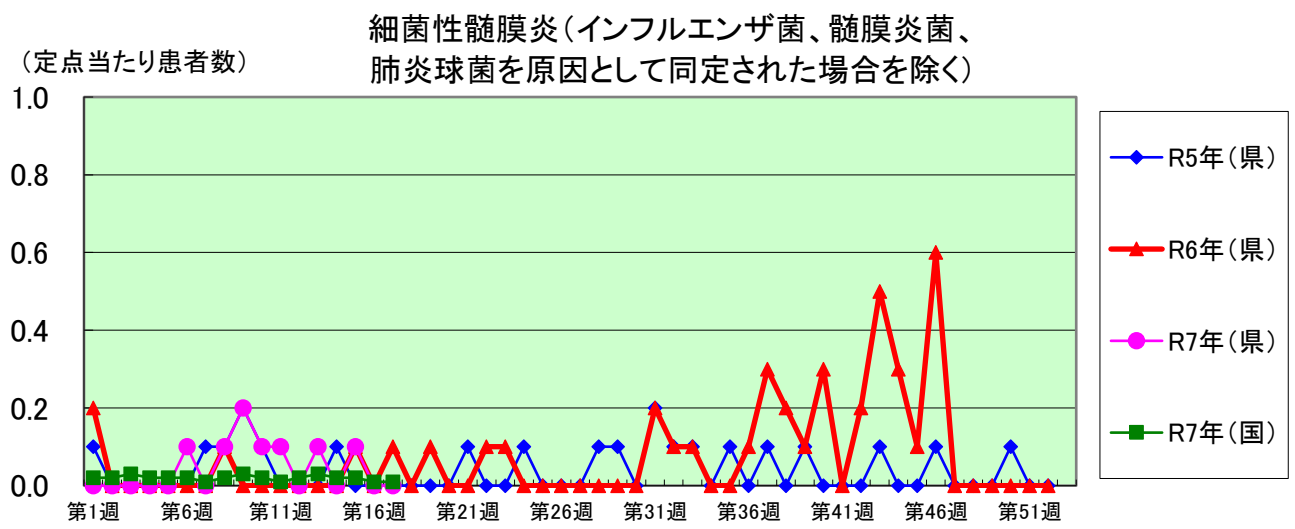

インフルエンザ
（定点当たり患者数）
（警報レベル　開始30　終息10　　注意報レベル　開始10　　流行開始の目安　1）
70.0
65.0
60.0
55.0
50.0
45.0
40.0
35.0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

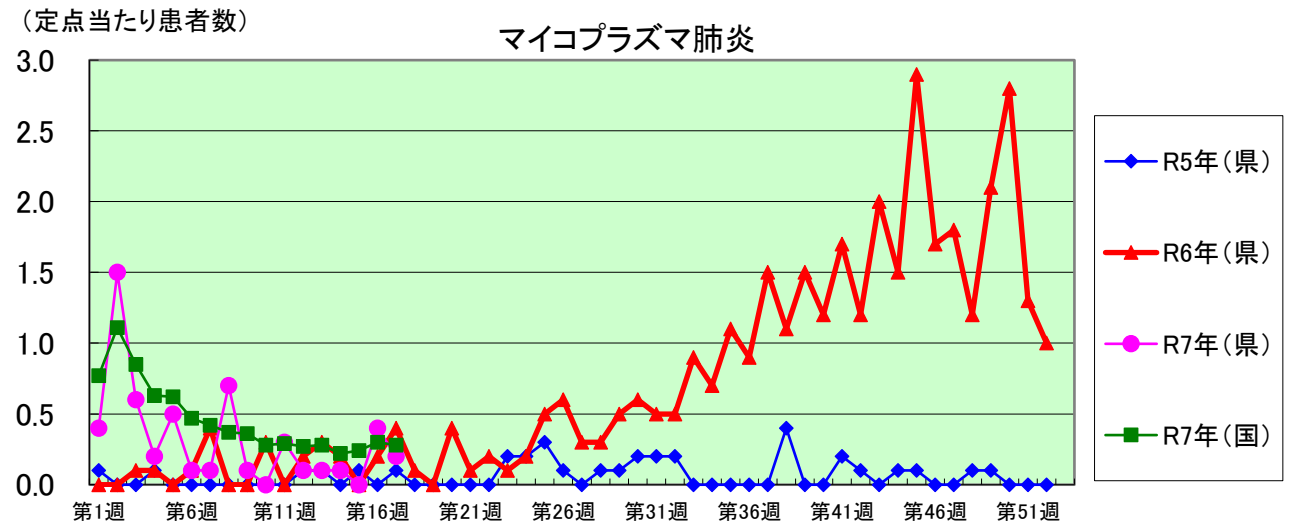

（定点当たり患者数）
新型コロナウイルス感染症（県独自の警報レベル16　注意報レベル8）
30.0
24.0
18.0
12.0
6.0
0.0
第1週
第5週
第9週
第13週
第17週
第21週
第25週
第29週
第33週
第37週
第41週
第45週
第49週
第53週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

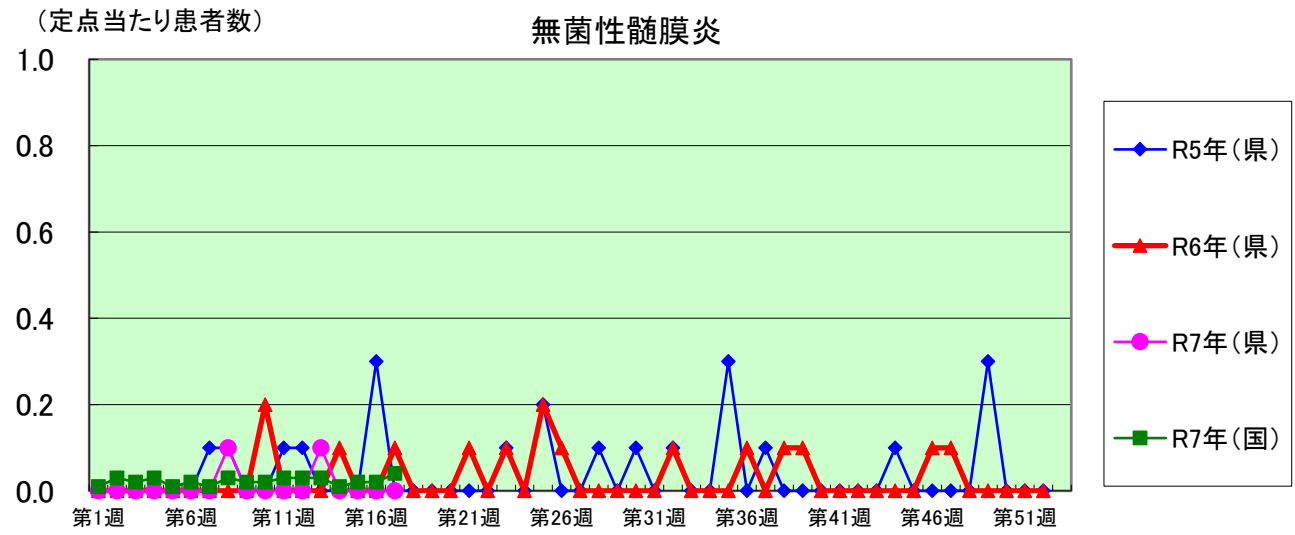

（定点当たり患者数）
急性出血性結膜炎
（警報レベル　開始1　終息0.1）
0.10
0.08
0.06
0.04
0.02
0.00
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）

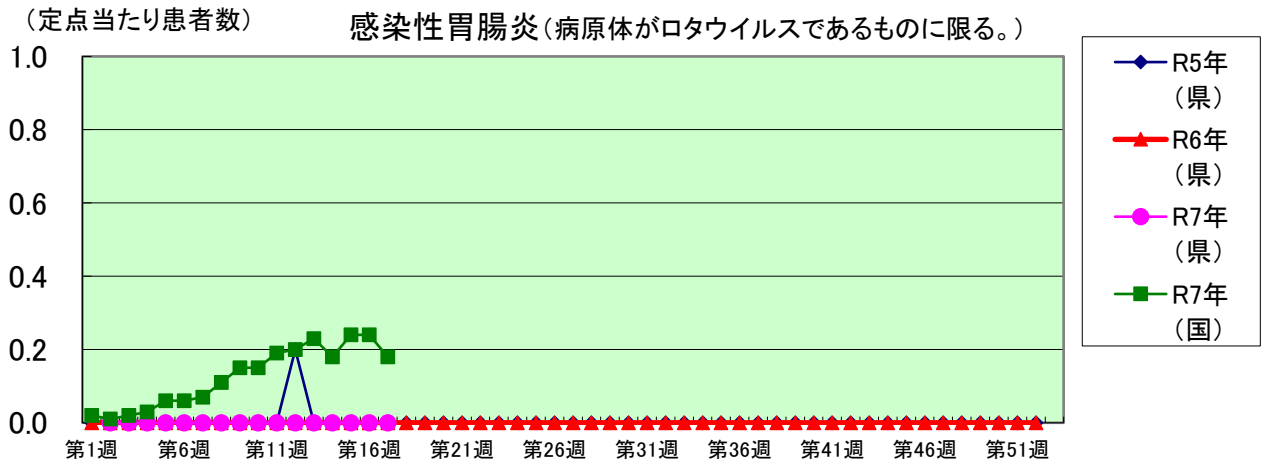

（定点当たり患者数）
流行性角結膜炎
（警報レベル　開始8　終息4）
1.5
1.2
0.9
0.6
0.3
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）


（定点当たり患者数）
クラミジア肺炎（オウム病を除く）
0.1
0.08
0.06
0.04
0.02
0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）


細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、
肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）
（定点当たり患者数）
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）


（定点当たり患者数）
マイコプラズマ肺炎
3.0
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）


（定点当たり患者数）
無菌性髄膜炎
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R5年（県）
R6年（県）
R7年（県）
R7年（国）



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎（オウム病を除く）、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2025年　3　月

	静岡県							全国				
	10月	11月	12月	1月	2月	今月	計	12月	1月	2月	今月	計
性器クラミジア感染症	47	39	39	46	32	27	230	2,074	2,217	2,018	2,182	8,491
性器ヘルペスウイルス感染症	22	15	13	16	19	15	100	840	798	741	871	3,250
尖圭コンジローマ	17	10	12	9	8	8	64	500	492	441	505	1,938
淋菌感染症	15	7	6	5	5	4	42	673	701	531	574	2,479
性器クラミジア感染症(男)	18	11	17	14	10	9	79	1,056	1,115	1,001	1,051	4,223
性器クラミジア感染症(女)	29	28	22	32	22	18	151	1,018	1,102	1,017	1,131	4,268
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	12	6	5	8	3	2	36	327	296	271	314	1,208
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	10	9	8	8	16	13	64	513	502	470	557	2,042
尖圭コンジローマ(男)	8	4	4	5	5	3	29	330	324	285	334	1,273
尖圭コンジローマ(女)	9	6	8	4	3	5	35	170	168	156	171	665
淋菌感染症(男)	13	5	5	5	3	3	34	503	535	396	416	1,850
淋菌感染症(女)	2	1	1	−	2	1	7	170	166	135	158	629
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	13	15	28	32	36	25	149	1,318	1,495	1,256	1,339	5,408
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			−	−	−	1	1	86	116	78	72	352
薬剤耐性緑膿菌感染症			−	−	−	−		11	6	5	7	29

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2025年　3　月

	静岡県						全国			
	10月	11月	12月	1月	2月	今月	12月	1月	2月	今月
性器クラミジア感染症	1.57	1.30	1.30	1.53	1.07	0.90	2.13	2.28	2.07	2.25
性器ヘルペスウイルス感染症	0.73	0.50	0.43	0.53	0.63	0.50	0.86	0.82	0.76	0.90
尖圭コンジローマ	0.57	0.33	0.40	0.30	0.27	0.27	0.51	0.51	0.45	0.52
淋菌感染症	0.50	0.23	0.20	0.17	0.17	0.13	0.69	0.72	0.54	0.59
性器クラミジア感染症（男）	0.60	0.37	0.57	0.47	0.33	0.30	1.08	1.15	1.02	1.08
性器クラミジア感染症（女）	0.97	0.93	0.73	1.07	0.73	0.60	1.04	1.13	1.04	1.17
性器ヘルペスウイルス感染症（男）	0.40	0.20	0.17	0.27	0.10	0.07	0.34	0.30	0.28	0.32
性器ヘルペスウイルス感染症（女）	0.33	0.30	0.27	0.27	0.53	0.43	0.53	0.52	0.48	0.57
尖圭コンジローマ（男）	0.27	0.13	0.13	0.17	0.17	0.10	0.34	0.33	0.29	0.34
尖圭コンジローマ（女）	0.30	0.20	0.27	0.13	0.10	0.17	0.17	0.17	0.16	0.18
淋菌感染症（男）	0.37	0.17	0.17	0.17	0.10	0.10	0.52	0.55	0.41	0.43
淋菌感染症（女）	0.07	0.07	0.27	0.13	0.10	0.17	0.17	0.17	0.14	0.16
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.30	1.50	2.80	3.20	3.60	2.50	2.75	3.13	2.62	2.80
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			－	－	－	0.10	0.18	0.24	0.16	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症			－	－	－	－	0.02	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2025年　3　月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	27	0.90	15	0.50	8	0.27	4	0.13
賀茂	…	…	…	…	…	…	…	…
熱海	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-
東部	3	0.60	-	-	-	-	-	-
御殿場	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-
富士	3	1.00	3	1.00	-	-	1	0.33
静岡市	6	1.00	7	1.17	2	0.33	1	0.17
中部	4	1.00	2	0.50	2	0.50	1	0.25
西部	8	1.60	-	-	1	0.20	-	-
浜松市	1	0.20	-	-	3	0.60	1	0.20

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	25	2.50	1	0.10	–	–
賀茂	-	-	-	-	-	-
熱海	1	1.00	-	-	-	-
東部	2	2.00	-	-	-	-
御殿場	…	…	…	…	…	…
富士	1	1.00	-	-	-	-
静岡市	10	5.00	-	-	-	-
中部	2	2.00	-	-	-	-
西部	6	6.00	1	1.00	-	-
浜松市	3	1.50	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

＊薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

3 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					2	6	7	3	2	3	2	2					27
性器ヘルペスウイルス感染症					1	2	2	3		2		2	1	2			15
尖圭コンジローマ						3	2	1				1				1	8
淋菌感染症						1			1	1	1						4
性器クラミジア感染症(男)					1	2	1	1		1	1	2					9
性器クラミジア感染症(女)					1	4	6	2	2	2	1						18
性器ヘルペスウイルス感染症(男)								1		1							2
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	2	2	2		1		2	1	2			13
尖圭コンジローマ(男)						1	1					1					3
尖圭コンジローマ(女)						2	1	1								1	5
淋菌感染症(男)									1	1	1						3
淋菌感染症(女)						1											1
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症								2	1				1	2	1	18	25
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																1	1
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

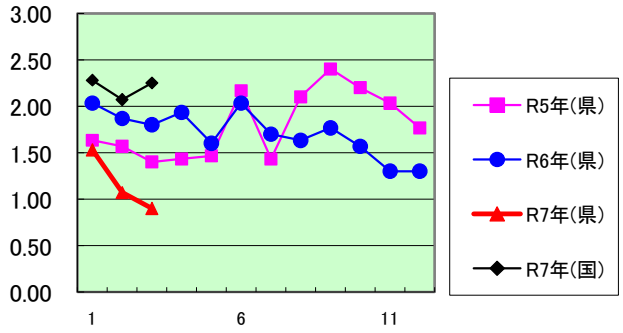
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

3 月

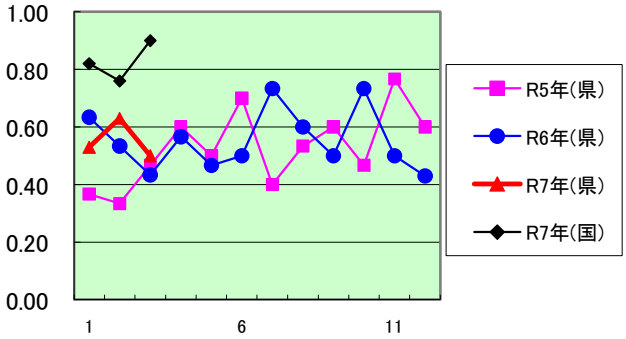
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.07	0.20	0.23	0.10	0.07	0.10	0.07	0.07					0.90
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.07	0.07	0.10		0.07		0.07	0.03	0.07			0.50
尖圭コンジローマ						0.10	0.07	0.03				0.03				0.03	0.27
淋菌感染症						0.03			0.03	0.03	0.03						0.13
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.07	0.03	0.03		0.03	0.03	0.07					0.30
性器クラミジア感染症(女)					0.03	0.13	0.20	0.07	0.07	0.07	0.03						0.60
性器ヘルペスウイルス感染症(男)								0.03		0.03							0.07
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.07	0.07	0.07		0.03		0.07	0.03	0.07			0.43
尖圭コンジローマ(男)						0.03	0.03					0.03					0.10
尖圭コンジローマ(女)						0.07	0.03	0.03								0.03	0.17
淋菌感染症(男)									0.03	0.03	0.03						0.10
淋菌感染症(女)						0.03											0.03
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症								0.20	0.10				0.10	0.20	0.10	1.80	2.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																0.10	0.10
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)推移グラフ

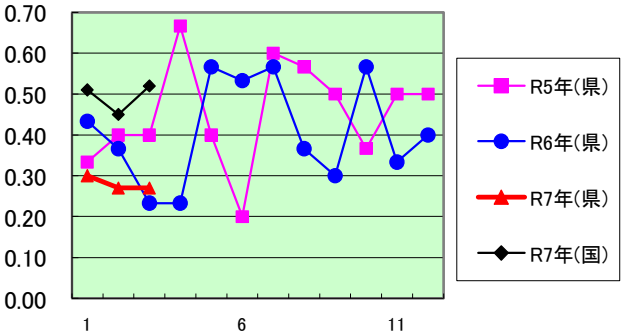
性器クラミジア感染症



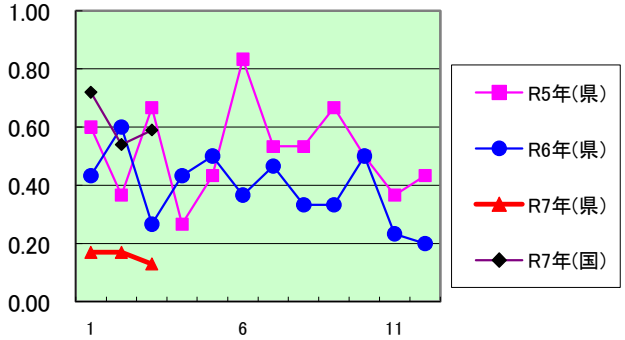
性器ヘルペスウイルス感染症



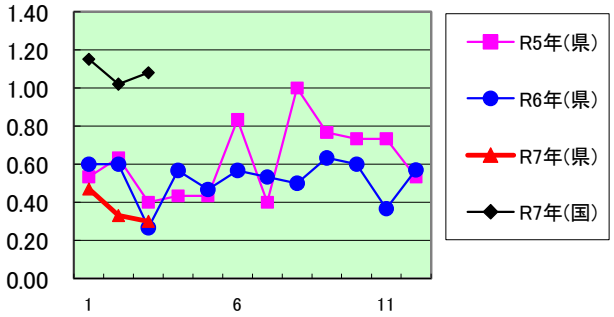
尖圭コンジローマ



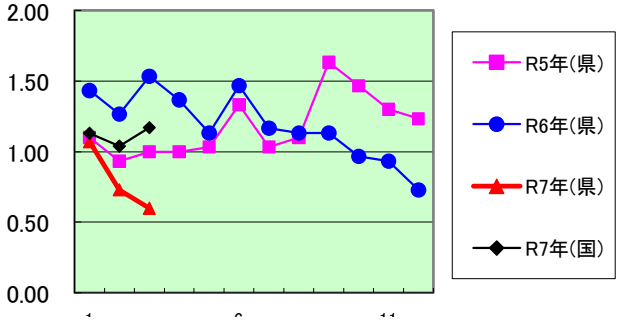
淋菌感染症



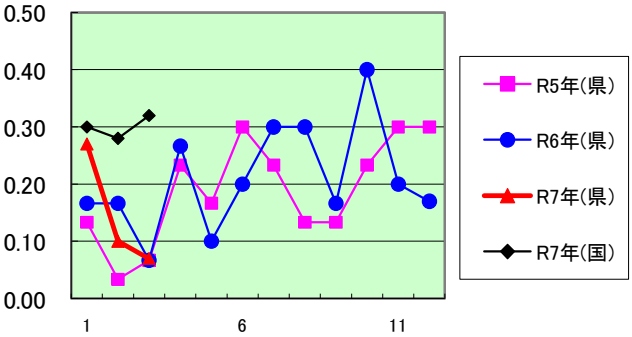
性器クラミジア感染症(男)



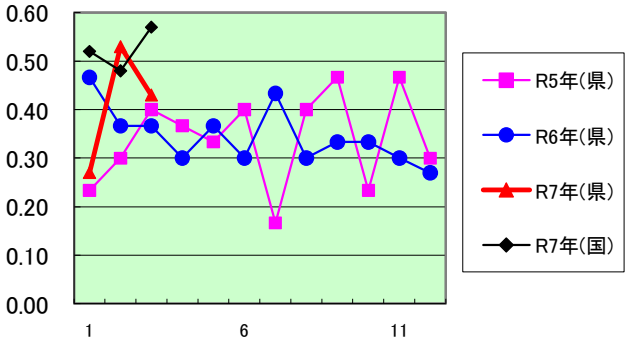
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

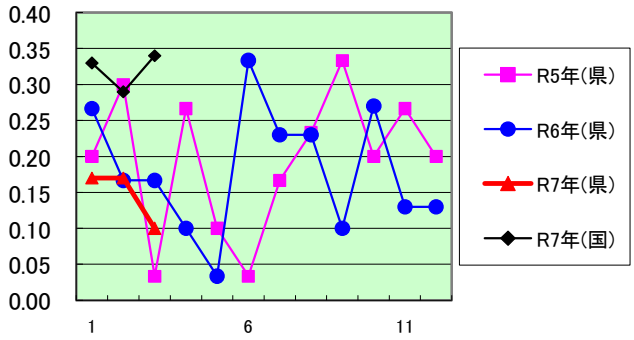


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

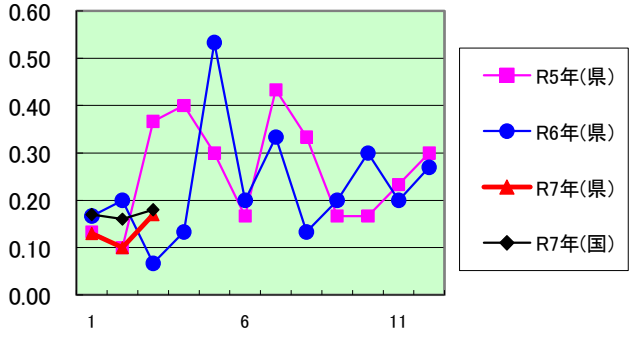


定点把握感染症(月報)推移グラフ

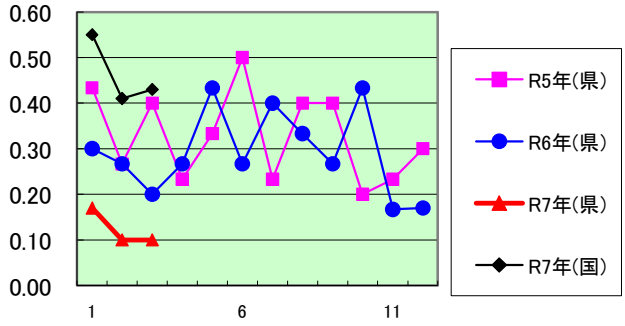
尖圭コンジローマ(男)



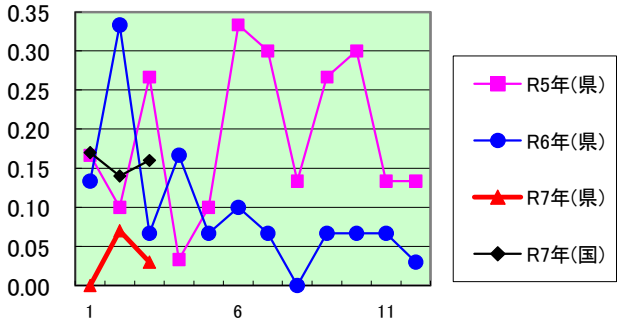
尖圭コンジローマ(女)



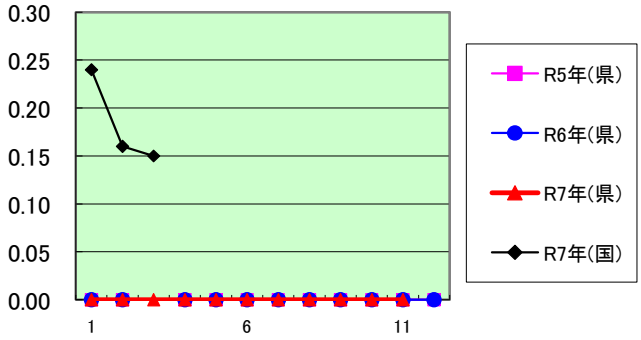
淋菌感染症(男)



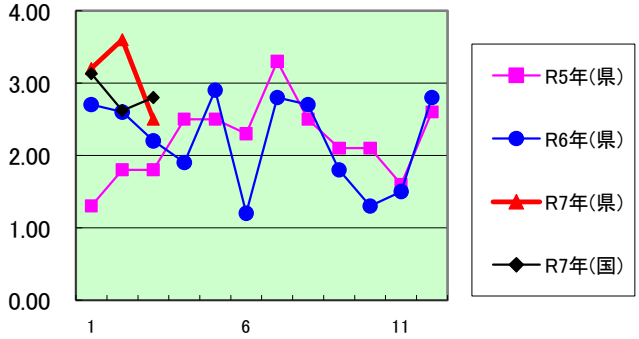
淋菌感染症(女)



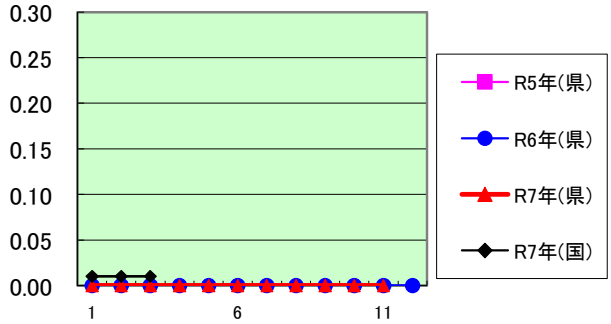
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年　　第17週　　4/21　～ 4/27

保:保育園　幼:幼稚園　小:小学校　中:中学校　高:高等学校
特支:特別支援学校　こ:こども園　高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週合計	前週	今シーズン合計
下田市	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	35
東伊豆町	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	38
河津町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
南伊豆町	学校・園の数										0	4
	学校・園の患者数合計										0	35
松崎町	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	9
西伊豆町	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	5
熱海市	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	2
伊東市	学校・園の数										0	4
	学校・園の患者数合計										0	77
沼津市	学校・園の数										0	22
	学校・園の患者数合計										0	295
三島市	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	258
裾野市	学校・園の数										0	10
	学校・園の患者数合計										0	202
伊豆市	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	62
伊豆の国市	学校・園の数										0	7
	学校・園の患者数合計										0	86
函南町	学校・園の数										0	5
	学校・園の患者数合計										0	77
清水町	学校・園の数										0	10
	学校・園の患者数合計										0	147
長泉町	学校・園の数										0	4
	学校・園の患者数合計										0	63
御殿場市	学校・園の数										0	30
	学校・園の患者数合計										0	402
小山町	学校・園の数										1	7
	学校・園の患者数合計										7	88
富士市	学校・園の数										0	28
	学校・園の患者数合計										0	339
富士宮市	学校・園の数										0	9
	学校・園の患者数合計										0	177
静岡市清水区	学校・園の数										0	19
	学校・園の患者数合計										0	266
静岡市葵区	学校・園の数			1						1	1	34
	学校・園の患者数合計			10						10	12	527
静岡市駿河区	学校・園の数										0	19
	学校・園の患者数合計										0	274

インフルエンザ施設別発生状況（学級閉鎖）について

2025年　　第17週　　4/21　～ 4/27

保：保育園　幼：幼稚園　小：小学校　中：中学校　高：高等学校
特支：特別支援学校　こ：こども園　高専：高等専門学校

市町	学級閉鎖があった学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週合計	前週	今シーズン合計
島田市	学校・園の数										0	14
	学校・園の患者数合計										0	158
焼津市	学校・園の数										0	20
	学校・園の患者数合計										0	293
藤枝市	学校・園の数										0	27
	学校・園の患者数合計										0	340
牧之原市	学校・園の数										0	5
	学校・園の患者数合計										0	105
吉田町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	40
川根本町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
磐田市	学校・園の数										0	18
	学校・園の患者数合計										0	222
掛川市	学校・園の数										0	22
	学校・園の患者数合計										0	256
袋井市	学校・園の数										0	17
	学校・園の患者数合計										0	222
湖西市	学校・園の数										0	12
	学校・園の患者数合計										0	145
御前崎市	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	50
菊川市	学校・園の数										0	6
	学校・園の患者数合計										0	61
森町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市中央区	学校・園の数										0	86
	学校・園の患者数合計										0	1,605
浜松市浜名区	学校・園の数										0	26
	学校・園の患者数合計										0	484
浜松市天竜区	学校・園の数										0	3
	学校・園の患者数合計										0	25
県内合計	学校・園の数			1						1	2	499
	学校・園の患者数合計			10						10	19	7,470
2024-2025シーズン施設別合計	学校・園の数	6	24	300	94	63	5	7				
	学校・園の患者数合計	61	248	4,292	1,388	1,317	95	69				

・第17週のインフルエンザの定点当り患者数は0.35です。
・咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。
（※　咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける）

新型コロナ変異株ゲノム解析結果について

（２月 24 日（月）～３月 23 日（日）分の集計）

２月中旬～３月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

結果判明日：３月７日（金）・３月 16 日（日）・３月 23 日（日）

＜変異株の件数＞

保健所		賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株		0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株		0	0	1	0	0	0	13	14
	（内BA.2）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(6)	(6)
	（内BA.5）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	（内組換体）	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(7)	(8)

本県の変異株の判明状況（３月 23 日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計（デルタ株＋オミクロン株）	判明者数	11,251	6,400	2,480	2,371
	（前回からの増加数）	(24)	(14)	(0)	(10)
デルタ株（R3.5.16～）	判明者数	2,411	1,256	648	507
	（前回からの増加数）	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株（R4.1.1～）	判明者数	8,840	5,144	1,832	1,864
	（前回からの増加数）	(24)	(14)	(0)	(10)
※オミクロン株【内、BA.２】	判明者数	2,123	1,103	560	460
	（前回からの増加数）	(9)	(6)	(0)	(3)
※オミクロン株【内、BA.５】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	（前回からの増加数）	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株【内、組換体】	判明者数	878	517	106	255
	（前回からの増加数）	(15)	(8)	(0)	(7)

※県　　：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（３月 23 日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.２	内、BA.５	内、組換体	BA.２	BA.５	組換体
２月26日（月）～３月24日（日）	63	50	0	13	79.4%	0.0%	20.6%
3月25日（月）～４月21日（日）	82	72	0	10	87.8%	0.0%	12.2%
４月22日（月）～５月26日（日）	19	19	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
５月27日（月）～６月23日（日）	40	40	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
６月24日（月）～７月21日（日）	90	90	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
７月22日（月）～８月25日（日）	116	116	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
８月26日（月）～９月22日（日）	107	106	0	1	99.1%	0.0%	0.9%
９月23日（月）～10月20日（日）	27	26	0	1	96.3%	0.0%	3.7%
10月21日（月）～11月24日（日）	31	31	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
11月25日（月）～12月22日（日）	21	17	0	4	81.0%	0.0%	19.0%
12月23日（月）～１月26日（日）	44	26	0	18	59.1%	0.0%	40.9%
１月27日（月）～２月23日（日）	28	14	0	14	50.0%	0.0%	50.0%
２月24日（月）～３月23日（日）	24	9	0	15	37.5%	0.0%	62.5%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（２月 23 日（月）～３月 23 日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合
JN.1	0	0.0%
KP.3	9	37.5%
その他のKP	0	0.0%
XEC	15	62.5%
XDQ	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	24	100.0%

XEC系統15件のうち、XECが最多で11件

※国立感染症研究所「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株 BA.2.86 系統について 第２報」及び「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の変異株 KP.3 系統について」において、「ウイルス学的・疫学的・臨床的知見の収集と、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統等、重要と思われる変異株の系統を掲載しています。

[redacted]

静岡県感染症対策課　055-928-7220